

事業実績書

- 1 事業名 にいみ木にかかわりビトプロジェクト
- 2 実施期間 令和 3年 5月10日～令和 4年 3月25日
- 3 事業内容

①事業の目的・概要

（目的）子どもから高齢者までの多世代が「木育」活動を通して、木の持つ魅力を体感し、森林を身近に感じ、身近な生活の中に「おかやまの木」を取り入れていこうという意識へと繋げていきたい。新見産材を使った「木のおもちゃ」のワークショップや「木の素材」を活かしたものづくりワークショップを展開していくことで、新見から発信する「にいみ木育」が備中圏域、県内、ひいては全国へ普及することを目指す。

（概要） 1 木育の普及・啓発

（1）第4回森のゆうえんちinにいみの開催

（2）「木のおもちゃ」を使ったワークショップの企画・運営

2 新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発

3 木育を展開するための人材育成

②事業の流れ等

1 木育の普及・啓発

（1）「第4回森のゆうえんちinにいみ」の開催

日時：令和3年11月7日（日）

場所：新見公立大学体育館

大学生10人による実行委員会を立ち上げ、学生の企画運営によって開催し、若い世代の考える「生涯木育」の推進を図ることができた。当日は、実行委員会メンバーのほかにも大学生40人、高校生31人がボランティアスタッフとして運営にあたった。

幼児から高齢者まで、スタッフを含め約400人の参加者が木に親しみ、木を通じた交流により、自然環境保全や自分達の生活の中に木を取り入れていこうという気運の醸成に繋がった。

新見公立大学において、全学科、教職員が積極的に関わり、地域との交流活動へ繋がりが、意義の大きな行事となった。

*行事詳細は別紙のとおり

（2）「木のおもちゃ」を使ったワークショップや「移動おもちゃ広場」の企画・運営

令和2年度事業の継続として、新見産ヒノキの積み木や新見産の立体積み木KUMINO等の「木のおもちゃ」を用いたワークショップを、備中県民局管内一円で展開した。

28回、参加者1,495人*詳細は別添「活動実績」のとおり

「移動おもちゃ広場」は、子育て支援、学校教育、地域連携、大学教育、自然体験活動、就学前教育、医療、福祉、観光、国際理解教育と多分野と複合的に発展してきた。

また、新見高校生物生産科が取り組む「高校生発！「木のぬくもり実感」事業」に協力して、県産材を用いた製作活動を支援し、高校生が製作した「木のおもちゃ」を新見中央認定こども園に届け交流会を行った。製作を体験するだけでなく、「木のおもちゃ」を通じて地域社会に貢献する経験となるよう取組んだ。

2 新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発

「木のジャングルジムくむんだー」を用いたワークショップを11回、参加者913人実施した。新見産材での「木のジャングルジムくむんだー」と環境学習を複合的にプログラム化することにより、幼稚園や小学生を対象とした依頼が前年度より増加した。

また、令和2年度事業で認定こども園に設置した新見産ヒノキの積み木を、社会福祉協議会と連携し、夏のボランティア研修会で、中高校生が磨き直して認定こども園に再提供した。令和3年7月10日(日)、20日(火)

今年度も新見産ヒノキの積み木を製作し、新たに新見市内の市立認定こども園1園、私立保育所3所に提供し、ワークショップを実施した。7回、参加者218人

令和3年11月12日(金) 新見市立新見中央認定こども園

令和4年3月17日(木) にこここ保育園

令和4年3月22日(火) こどものいえ

令和4年3月23日(水) さくらんぼ保育園

また、県民局管内の各団体への「木のおもちゃ」の貸し出しも需要があり、15カ所に無償で貸し出した。

3 木育を展開するための人材育成

ワークショップの準備・開催にあたって「木育プログラム」の開発と実践を継続的に行った。学校間や地域を越えた先駆的な「木」に関わる取組を積極的に取り入れ、独自性を図ってきた。

森のゆうえんち in にいみの開催に向けて、大学生による実行委員会(8回)の運営を支援し、木育を提供する側としての実践研修となった。

また、岐阜県立森林文化アカデミーから講師を招聘して、県内はもとより他県からの参加者と共に、里山を活かした自然体験活動について助言を受けるため、自然遊び研修会を開催した。令和4年3月16日(水)

その他にも、哲西中学校の総合学習の時間での森林・林業学習において、林業事業体の視察等とあわせ、当会からも「木育」の取組みを説明した。中学生が今後の市政への提言を考える学習取組の一環であった。

また、令和6年に岡山県での開催が予定されている第74回全国植樹祭に向けたイベント「苗木のホームステイ・スクールステイ」に参加し、10月2日に学童保育の児童とともに苗木の育成体験、森林学習にも取組んだ。

③ 成果・効果

世界規模での環境問題への危機感から、人々の自然環境への関心の度合いが深まってきており、人々の「木」や「森林」を大切にしようとする価値観が、意識調査の結果からも伺われる。

くらしき都市緑化フェアで2年継続実施したアンケート結果でも、「木育」の認知度は上がり、参加者が木の良さに気づき、生活の中で木製品を取り入れようとする意識につながっていることが現れた。

特に、学生の企画運営による「第4回森のゆうえんち in にいみ」は、初めての試みで授業時間や教育実習と準備、打ち合わせの日程調整に試行錯誤の連続だったが、今回の試みを参考に、次年度は、より具体的、効率的なスケジュール調整が可能となり、健康保育、地域福祉、看護学科の特性を活かしたブース展開が期待できる。

今年度の成果目標と指標の達成状況

成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	達成状況
木育の普及・啓発 「木育」という取組への 認知の向上 参加者が木材を使う、森 林整備に関わる行動を 取り始める	「木育」認知度 アンケート等によ り、実際に木製品 を生活に取り入れ た等の回答が得ら れる	新見市 65% 倉敷市 43% 数値目標なし	新見市 80% 倉敷市 45% 数値目標なし	新見市 100% 倉敷市 44.6% *イベント時のアン ケート結果による 下記に記載
新見産材等を活用した木製 品の企画や普及啓発	木と触れあう空間 づくりの箇所数	昨年度 6箇所 6 保育施設	10箇所	11箇所 10保育施設、1店 舗(子育てカフェ)
木育を展開するための 人材育成	参加団体数、人数	昨年度 6団体、32人	15団体、60人	8団体、102人

数値目標を設定していない成果目標「参加者が木材を使う、森林整備に関わる行動を取り始める」について

◎「くらしき都市緑化フェア」でのアンケートから

保護者の概ね2割程度から、木を取り入れたいとする次のような回答が得られた。

- ・電池を使ったおもちゃが多いので、木のおもちゃを取り入れてみたい
- ・身近なアイテムで木製品を取り入れたい
- ・なるべく木製品をとと思った
- ・プラスチックのおもちゃを木にする

保護者が、「来年もこの行事に来よう」と話したり、木のおもちゃを買えるか問合せがあるなど、木育のリピーター、木のおもちゃのユーザーとなることが期待された。

◎「森のゆうえんちinにいみ」でのアンケートから

参加した保護者からは、概ね半数の保護者から、「木育」を好ましく捉え、木を取り入れる意識、森林・林業につながる意識の現れた次のような回答が得られた。

- 保護者
- ・新見の主要産業のひとつなので、木を子ども達に身近に感じてほしい
 - ・利用できる物を木に変えていくと心豊かに人が育つ
 - ・新見は山が多く、管理できない山も多いことを考えてほしい
 - ・地域の森をよくする動きに繋げていくとよい
 - ・派手な色や音でなくても夢中で遊ぶことが意外だった。木のおもちゃは高価だが、取り入れてみたい。

ボランティアスタッフとして参加した大学生、高校生から、子供達、保護者が喜ぶ様子への感動や楽しかったという感想が概ねを占める中で、次のような回答が寄せられた。

- 大学生
- ・木のすごさを子どもに感じてもらえたと思いました。
 - ・自分に子供が生まれたら木のおもちゃを買いたい。
 - ・この経験を来年の保育実習に活かしたい。
 - ・木のジャングルジム以外にもたくさんの木のおもちゃで遊ぶ企画もしてみたい。
- 高校生
- ・昔から家の周りで嗅いでいた木の香りが懐かしく、その木を使ってこんな風
に楽しく遊べる。来年度は新見公立大学に進学して大学生として参加したい。

- ・木の可能性ってすごいと思った。
- ・新見でこんな楽しい会が出来ること自体が夢みたい。
- ・将来、教育に興味があったため参加した。来年も参加しようと思う。
- ・将来につながる視野を広げることができた。

準備、運営等を改善して次回も取組もうとする記述も多く、今後、木育を担う人材として育ち、新見地域に木育活動が定着、継承され、さらに他地域への広がっていくことが期待される。

また、消費者として、職業人として、木材という資源を選択する消費、経済活動に繋がっていくことを期待する。

なお、高校生発！木のぬくもり体感事業に取組んだ新見高校生物生産科からは、林業方面への進学（1名）が決まっている。

④ 今後の課題・展開等

持続可能な社会の実現に向け、県産材を使用した新見市独自の多様な木のおもちゃの製作、店舗等の木質空間化や自然の中の遊び空間づくりに、大学生や子ども達の発想を積極的に取り入れていきたい。

また、「木」に親しむ暮らしへの強い思いを、どのような「カタチ」として具体化するかという次へのアプローチも考えていく必要性も感じている。

木育プログラムの基礎部分はある程度できてきたが、検証し、実際に活用してみて、フィードバックを適時行う必要がある。今後も、子育て支援、福祉、教育、観光、医療の多分野の実情に合わせた対応ができるようにプログラムを継続的に改善し構築していきたい。

今後の財源確保については、依頼料の得られる出展依頼も入るようになってきており一助となることを期待しているほか、各団体への「木のおもちゃ」の貸し出しを、次年度からは有償レンタルの方向で考えている。

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

県民局管内で広域的な「木育」活動が展開できたことの意義は大きい。

活動の知名度があがり活動依頼が増え、「木育」での関係交流人口の増加により、地域内外に良き理解者や応援団ができた。地域材の付加価値を高め、発展的にネットワークを他地域、他分野と積極的に構築していくことが必要で、「木のおもちゃ」、「木育」の提供体制が少しずつ確立している。

新見市から令和3年度から3年間、新特産品開発事業として「木のおもちゃ」の開発を委託されることとなったことも、2年間協働事業に取組んだ備中県民局管内でのワークショップや「木のおもちゃ」の提供、無償貸し出し等の事業の成果が認められたものと考えている。

「おかやまの木」を生活の中に実際に取り入れていくための活動は、官民合わせた長期的な展望をもった取組にしていくことが必要である。今後は、建築関係、林業関係、自然保育等、「木」に関わる多種多様な団体や個人とのSDGsに特化したネットワーク構築が岡山県の木材普及へと繋がっていくものと考えている。

事業変更計画書

① 団体名	一般社団法人にいみ木のおもちゃの会
② テーマ区分	指定テーマ(10) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③ 事業名	にいみ木にかかわりビトプロジェクト
④ 採択回数等	2 回目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤ 事業目的	再生産可能な資源である木材の利活用を促進し、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の持続的な循環を進めることで、森林の多面的機能の発揮、循環型社会の形成や地域経済の活性化に資する。 子どもから高齢者までの多世代の多種多様な方が「木育」活動（木材利用に関する教育活動）を通じて、木の持つ魅力を体感し、身近な生活の中に「木」を取り入れていこうという意識へ繋げ、木材利用への消費者理解を醸成する。 また、「木育」活動を通じて地域の連携を深め、地域活性化を図る。
⑥ 現状及び課題	当会の考える「木育プログラム」の展開に基づき、各年代層に合わせた「木育体験」の実施や世代間交流を図ってきた。 令和2年度は教育、福祉、子育て支援の場で「木育」を展開し、県産材の利用普及についての県民の意識を知るためアンケートを行ったところ、木育活動を実施してきた新見地域では「木育」への認知度が高くなっており、少しずつではあるが「木の良さ」に着目する方が増えてきていることが伺われた。 実際に「おかやまの木」を身近な生活に取り入れる行動、県産材の利活用促進につなげるためには、継続的な取組が必要である。
⑦ 事業内容	1 木育の普及・啓発 (1)「第4回森のゆうえんち in にいみ」の開催 年1回 令和2年度にコロナ渦を考慮して取り止めた「第4回森のゆうえんち in にいみ」を新見公立大学と連携して学生の企画運営により開催する。幼・小・中・高・大学を通した「生涯木育」を推進し地域活性化に繋げるとともに、事業推進過程の中で、備中地域内の木育団体との連携や子育て支援、福祉、医療分野との連携ネットワーク化を図る。 ・木に関わる各種ブースの設営、アクティビティを通しての交流 (2)「木のおもちゃ」を使ったワークショップや「移動おもちゃ広場」の企画・運営 令和2年度に引き続き、各年代に合わせた「木育プログラム」の実践事業を新見市のみならず、備中県民局管内で展開する。「木のおもちゃ」の特性や発達段階ごとの効果や遊び方のレクチャーをはじめ、直接「触れる・遊ぶ」といった体験活動により、参加者が「おかやまの木」の良さに気づき、生活の中で「木製品」を使おうとする意識へと繋げていく。

	<p>2 新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発 令和2年度に引き続き、新見市内の保育、教育機関等に新見産ヒノキ材を活用した木製品を地元木材関係事業者と連携して提供する。新見地域産のヒノキやスギでの「木のおもちゃ」や製品の創作、販売を通して、地域のサプライチェーンの確立を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木のジャングルジムくむんだー」、「ヒノキの積み木」の製作 ・保育所等への木のおもちゃの貸出・設置、普及活動 <p>3 木育を展開するための人材育成 「木育プログラム」構築に向けて、官公庁や「木に関わる人達」とのネットワークを有効に活用しながら調査、研修を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 9回 5回 木育先進地(岐阜県)から講師を招いての研修会 県内の「木育」関係者を対象とした指導者研修会 大学生による木育実践に向けた研修 当会会員の「木育プログラム」研修 																
<p>⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応</p>	<p>*代替案の検討、事業縮小、事業中止など 令和2年度はコロナ禍を考慮して集客イベントの取り止めなどを行った。県のガイドラインに従った適切な対応をとることになる。安全をまず第一に考えた対応としたい。そのうえで可能であれば代替案の中で規模を縮小して実施していきたい。</p>																
<p>⑨今年度の成果目標と指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 木育の普及・啓発 「木育」という取組への認知の向上 参加者が木材を使う、森林整備に関わる行動を取り始める </td> <td> 「木育」認知度 アンケート等により、実際に木製品を生活に取り入れた等の回答が得られる </td> <td> 新見市 65% 倉敷市 43% 数値目標なし </td> <td> 新見市 80% 倉敷市 45% 数値目標なし </td> </tr> <tr> <td> 新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発 </td> <td> 木と触れあう空間づくりの箇所数 </td> <td> 昨年度 6箇所 </td> <td> 10箇所 </td> </tr> <tr> <td> 木育を展開するための人材育成 </td> <td> 参加団体数、人数 </td> <td> 昨年度 6団体、32人 </td> <td> 15団体、60人 </td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	木育の普及・啓発 「木育」という取組への認知の向上 参加者が木材を使う、森林整備に関わる行動を取り始める	「木育」認知度 アンケート等により、実際に木製品を生活に取り入れた等の回答が得られる	新見市 65% 倉敷市 43% 数値目標なし	新見市 80% 倉敷市 45% 数値目標なし	新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発	木と触れあう空間づくりの箇所数	昨年度 6箇所	10箇所	木育を展開するための人材育成	参加団体数、人数	昨年度 6団体、32人	15団体、60人
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)														
木育の普及・啓発 「木育」という取組への認知の向上 参加者が木材を使う、森林整備に関わる行動を取り始める	「木育」認知度 アンケート等により、実際に木製品を生活に取り入れた等の回答が得られる	新見市 65% 倉敷市 43% 数値目標なし	新見市 80% 倉敷市 45% 数値目標なし														
新見産材等を活用した木製品の企画や普及啓発	木と触れあう空間づくりの箇所数	昨年度 6箇所	10箇所														
木育を展開するための人材育成	参加団体数、人数	昨年度 6団体、32人	15団体、60人														
<p>⑩中期(数年)的な目標</p>	<p>保育、教育等子育て支援の場、障害者支援、高齢者福祉等福祉の場、地域住民の交流の場など、様々な場面で事業を継続していくことにより、地域の中に「木育」に対する意識が深まり、各人が生活の中に「木」を取り入れる具体的な取組が広まり、県産材の利活用が促進されることを目指す。</p>																
<p>⑪長期的な目標</p>	<p>「木育プログラム」の展開により、木材の利用や森林資源の保全への理解が深まり、木材利用、森林整備に対して主体的な姿勢を持って行動する市民が育ち、林業人口の増加と共に地域の活性化へと繋がる。 中山間地域にとどまらず、「木育」を子育て支援や教育活動の一環として取り組む市町村も増えてくる。 新見産材を使った「木のおもちゃ」「木の素材」を活かしたワークショップを継続的に展開し、新見発の「新見の木育」が、備中圏域、県内、全国へと普及することを目標とする。</p>																

⑫翌年度以降の事業展開の予定	<p>一般社団法人化により、新見市外、県外からの「木育」活動のコーディネートへの依頼も増えてきた。木のおもちゃの貸出やワークショップの指導料を財源として事業展開できるようにしたい。</p> <p>森林環境譲与税の効果的な利用についてのプランニングも事業展開の一つとして考えている。</p>
⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント	<p>一般社団法人化後、林業振興と地域活性化という視点と方法論をより具体化し、事業展開してきた。備中県民局提案型協働事業の採択を受けることにより、新見市の枠を越えた事業内容も増え、他市町村からの「木育」「施設の木質化」「自然遊び」の企画、支援依頼が目に見えて増えてきている。</p> <p>これからも新見市に軸足を置きながら「木育」の全国発信を続けていきたい。地道な活動が「おかやまの木」の普及に繋がるものと考えている。</p>
⑭想定される役割分担	<p>【団体】 各事業の企画、調整、運営、広報。</p> <p>【県民局】 各事業を実施するための他の行政機関との連絡調整や木育推進のための資料および情報提供。</p> <p>【その他】 木育先進地の木育ネットワークの効果的活用。</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】 県民局と協働することで、新見市内に留まらず広く当会の木育事業を展開することができると思う。</p>

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境など）、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 3 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ（問題）、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 4 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 5 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。
- 6 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 7 「⑩中期(数年)的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 8 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期(数年)的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 9 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関する事、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 10 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。

日程変更計画表

年月	事業内容	場所	規模等
3年 11月	<p>1 木育の普及・啓発</p> <p>(1)「第4回森のゆうえんちinにいみ」の開催 (11月予定 11月7日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から高齢者までが、木に関わる各種ブース、アクティビティを通しての交流 ・新見公立大学や各種団体との連携 	新見公立大学体育館	800名 402名
3年 5月 ～ 4年 3月	<p>(2)「木のおもちゃ」を使ったワークショップや「移動おもちゃ広場」の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・学校教育との連携(総合学習、生活科) ・地域活性化 ・大学教育との連携 ・自然体験活動の推進 ・保育所、幼稚園支援 	幼稚園、保育所、学童保育 小中学校、高校、大学、特別支援学校、高齢者福祉施設、子育て支援センター、 社会福祉協議会等	25 60 回、 1,434 9,000 人 (50人 ×20回① 100人× 30回① 500人× 10回②)
3年 5月 ～ 4年 3月	<p>2 新見産木材等を活用した木製品の企画や普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木のジャングルジムくむんだー」の製作と普及 ・地元産の「ヒノキの積み木」の製作と普及 ・保育所、子育て支援施設への「木のおもちゃ」の貸出、設置 	地元木工所 建具屋、木工職人	10回 5,000人 くむんだー ワークショップ 12回、913人 ヒノキ積み木 設置4施設 ワークショップ 3回、131人 *コロナのため日程調整中の3市立保育所分は未計上

3年 5月 ～ 4年 3月	<p>3 木育を展開するための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木育プログラム」の開発と実践 あらゆる年代における「木のおもちゃ」をツールとした「木育マニュアル」やプログラム開発 ・「木育」先進地との情報交換と情報の共有 ・「木育」に係る研修会の実施 先進地岐阜県の講師を招いての研修会 1回 県内「木育」関係者を対象とした指導者研修会1回 大学生による木育実践に向けた研修 8回 当会会員の「木育プログラム」研修 3回随時 	幼稚園、保育所、学童保育小中学校、高校、大学、特別支援学校、高齢者福祉施設、子育て支援センター等	<p>9 5回 132 60人</p> <p>*3/16実施予定の研修会参加人数は見込み計上</p>
---------------------------	--	--	--

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。

「第4回 森のゆうえんち in にいみ2021」実施要項

名称：備中県民局提案型協働推進事業
 第4回 森のゆうえんち in にいみ
 大学に遊びにおいでよ ～木で広がる笑顔の輪～

日時：2021年11月7日（日）10：00～16：45

場所：新見公立大学 体育館（新見市西方1263-2）

●概要：木に触れ、香り、音を感じるといった五感による実体験を通して、木育についての理解や学びを深めてもらう。また新見の豊かな資源である森林を次世代へつないでいくことの大切さを伝えるイベントである。新見公立大学生が主体となって企画、運営を行う。

●主催：「第4回森のゆうえんち in にいみ」実行委員会

●共催：一般社団法人にいみ木のおもちゃの会

●後援：新見公立大学・備中県民局

●参加協力団体：新見市農林課、新見ウィンドアンサンブル、西粟倉村「mori n oto」、せとうちこども合唱団「ティンカーベル」、Ton ton、、クミノ工房井上慎也さん
 安田ウッド

●参加者：新見市内の親子・家族。電話による完全予約制。各クール50組。入れ替え制。

第1クール 10時～11時45分

第2クール 13時～14時45分

第3クール 15時～16時45分（※ボランティアとスタッフ交流会）

●内容： ①新見市ウッドスタート事業

②岡山県の林業についてのパネル展示

⑧ボードゲーム

③森のおもちゃ箱コーナー

⑨「バンドーラ」紹介コーナー

④Join us! 森の仲間になろうよ

⑩TEMI と話そう

⑤紙芝居と表現遊び

⑥わんぱくひろば

⑦木っざにあ

●新型コロナ感染症対策

県の新型コロナ感染症対策に従い実施。大学との共通理解。備中県民局から対策用器具の提供
 マスクの着用、手指消毒、換気、施設、用具の消毒、ソーシャルディスタンスの協力

●実行委員会組織（コアメンバー）

実行委員長	中山 由衣	新見公立大学健康保育科3年
副実行委員長	白波瀬桃花	新見公立大学健康保育科3年
副実行委員長	吉良 宏子	一般社団法人にいみ木のおもちゃの会
	広瀬 綾子	新見公立大学健康保育科准教授
	入江 慶太	新見公立大学健康保育科准教授

実行委員 沢田舞香・鈴木夏帆・高橋 光・高原愛梨・永島 光・新田百合奈
 八木未羽・吉岡むう 新見公立大学健康保育科3年

事務局 藤本 忠男 一般社団法人にいみ木のおもちゃの会

●スタッフ	
新見高校	27名
共生高校	4名
公立大学	50名
一般	15名
合計	96名

●参加者	
第1クール	93名
第2クール	85名
合計	178名

○関係団体	
ウィンドアンサンブル	25名
ティンカーベル	32名
関係個人・団体	71名
合計	128名

総数 402名

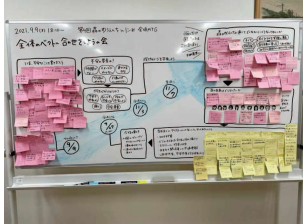
人材育成 「第4回森のゆうえんち i nにいみ実行委員会」

【11月7日(日)までの第4回森のゆうえんち i nにいみ活動記録】



ゴール

片付け完了後の第8回実行委員会



第6・7実行委員会

第5回委員会



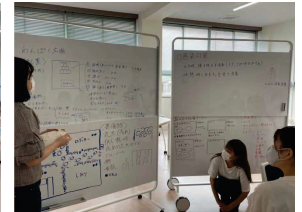
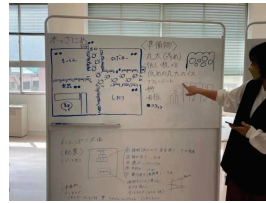
前日準備

第4回実行委員会
北浦さんグラレコワーク

10月の教育実習を前に、不安感、孤独感を解消するワーク

スタート

第2回
第3回
実行委員会



第1回実行委員会
設立会



No	期日・場所	実行委員会・準備会	協議内容	参加者
①	6/10 (木) 18:00 ~ 20:00	第1回実行委員会 ミーティングルーム	立ち上げの会。実行委員会組織として、役割分担を決定し、日程の共通理解を行う。	大学生9人 広瀬入江・藤本・吉良
②	6/14 (月) 9:30 ~ 11:00	第2回実行委員会 ミーティングルーム	テーマ「大学に遊びにおいでよ!」の決定と具体的な内容についての協議を行う。	大学生9人 小川入江・藤本・吉良
③	8/12 (木) 18:00 ~ 20:00	第3回実行委員会 ミーティングルーム	各ブース担当者からの内容についての提案を行い、全体での協議を行う。	大学生9人 入江・藤本・吉良
④	9/9 (木) 18:00 ~ 20:00	第4回実行委員会 ミーティングルーム	北浦菜緒さんによるグラレコでモチベーションアップ研修会を行う。	大学生9人 入江・藤本・吉良
⑤	9/28 (火) 9:30 ~ 11:00	第5回実行委員会 ミーティングルーム	当日ボランティアの動きや各担当ブースの運営についての全体での共通理解を行う。	大学生9人 入江・藤本・吉良
⑥	11/3 (水) 9:00 ~ 16:00	第6回実行委員会 西方公民館	各ブース担当者からの説明と全体の運営に関する共通理解と協議。準備物の製作。	大学生10人 藤本
⑦	11/6 (土) 17:00 ~ 20:00	前日準備 (体育館) 第7回実行委員会	体育館で準備を行う。当日の運営についての最終確認を行う。リハーサルも行う。	大学生40人 一般30人
⑧	11/7 (日) 8:00 ~ 18:00	当日 (体育館) 第8回実行委員会	参加者、スタッフみんなが、「木」で笑顔の輪を広げた「森のゆうえんち i nにいみ」	ボランティア・参加者 含め400名
⑨	3月予定	第9回実行委員会	全体の総括と次年度への展望を語り合う会。	実行委員会全員



せとうちこども合唱団ティンカーベル
& 新見ウインドアンサンブルのメンバー



新見産のヒノキ
やスギを使った
木のおもちや

木の香りと優しい
質感が、赤ち
ゃんからお年寄
りまでの心を
温かく包んでく
れました。

当日スタッフ、協力団体約200名での記念撮影



「参加してくれた人達に
「木」を通して笑顔の輪を
広げたい」
というスタッフ。

「コロナ禍で人と人との交
流が思うようにできず、多
くの人と交流をしたい」
という参加者。

温かい体育館での日頃体験し
たことのないスケール、音楽
と木質空間は、見事に、「新見
の森」の中での心繫がる世界
を創り出しました。

第4回森のゆうえんち i n にいみ実施に伴う コロナウイルス対策について

①参加者について

- 新見市内の親子・家族に限定
- 完全予約制
- 2クール制（1時間45分）の入れ替え制
- 定員各50組
- 子ども・大人すべてマスク着用。

②受付時の対応について

- 受付時、並び列が発生しないよう、ソーシャルディスタンスを保持する。
- 受付時に、体温測定し。氏名、連絡先確認。
- 感染防止対策の説明書を子ども用、大人用を数カ所に掲示し、協力をお願いする。館内放送での協力依頼も行う。
- マスク着用をお願いと忘れた方へのマスク着用の準備を行う。
- 基本は各自の上履き。忘れた方には、簡易スリッパ
- 発熱や体調の優れない方は、入場をお断りする。

③スタッフの対応について

- 体調チェック表の記入。検温。
- 消毒シート、消毒スプレーを適宜活用
- コロナ対策についてのスタッフマニュアルについてのレクチャーを事前に行い、参加者や関係者から問い合わせや質問があった場合に適切な対応がとれるようにしておく。

④会場運営について

- 受付机に「手指アルコール消毒」を設置し、使用を促す。
- 各ブースごとに「手指アルコール消毒」スプレーを設置。
- 各ブースでの使用したおもちゃや器具、机等については、
随時消毒していく。
- 館内の換気はクールごとに行う。下の窓。
- 各クールが終了時に、消毒作業を行う。
- 各コーナーの責任者が、消毒の完了を総括責任者に
報告する。

⑤その他

- 備中県民局提案型協働事業であるため、県の指導に
基づいた実施形態となる。

資料1 備中県民局関係のみ 令和3年度 にいみ木のおもちの会活動実績報告 NO. 1

NO	期日	活動名	場所	内 容	参 加 者	
					内 訳	総数
1 ■	6/10 (木) 18:00 20:00	第4回森のゆうえんち iinにいみ ①実行委員会	新見公立大学 ミーティング ルーム	立ち上げの会。実行委員会組織として、役割分担を決定し、日程等の共通理解を図った。健康保育科3年生9人	大学生 9人 教員 2人 スタッフ 2人	13
 				<p>目的 「第4回森のゆうえんちiinにいみ」の基本コンセプトや内容、役割分担などについて、共通理解を図る。</p> <p>内容 健康保育科3年生9名がコアメンバーとなり、企画運営を行う。運営の具体的な姿が共有できていない部分が多くあり、メンバーの疑問点や要望などを自由に出し合いながら、全員で臨む体制作りを行った。広瀬先生と入江先生も加わってくださり、学生達への指導の過程で助言をいただいた。</p> <p>成果と課題 新見公立大学が4年制となって初めての学生達である。コロナ禍で、教育実習に影響もあった学年。自分達の手で、沢山の人が喜んでもらえるイベントをしてみたいという熱い想いを持っている。ただ、未知の体験のため、どんな会にするとか、自分が何をすればいいのかがまだわからない状態であった。 丁寧に対応していくことで、不安感が期待感に変わるようコーディネートしていった。</p>		
2 ■	6/14 (月) 10:00 11:00	第4回森のゆうえんち iinにいみ ②実行委員会	新見公立大学 ミーティング ルーム	テーマ「大学に遊びにおいてよ〜木でつながる笑顔の輪」の決定と具体的な内容についての協議を行った。	大学生 9人 教員 2人 スタッフ 3人 (小川副参事)	14
				<p>目的 基本コンセプトの決定を行う。</p> <p>内容 健康保育科3年生9名と大学の教員と事務局での具体的な協議を行った。</p> <p>成果と課題 共通の認識をまず行き、学生達が企画運営していくために、スケジュール調整と大学での活動との摺り合わせを行った。未知の分野なので、試行錯誤しながらの会であったが、前向きな発言により、チームとして、この会を進めていくという気運を高めることができた。</p>		
3 ●	7/2 (金) 10:00 11:00	新見市立草間台保育所 親子参観日	新見市立草間台 保育所	オンライン交流でもお世話になった保育所での親子参観日支援。「木育」と科学遊びをプログラム化して行った。	子ども 15人 大人 11人 スタッフ 3人	29
 				<p>目的 参観日で、「木育」での親子の豊かな交流を図る。</p> <p>内容 新見市立草間代保育所の親子参観日への活動支援。「木育」では、ヒノキの積み木やクミノでの活動を行った。プリプリスライムやどてかシャボン玉を発達段階に合わせて提供した。</p> <p>成果と課題 保護者と子ども達の交流活動は、1時間程度だが、保育士と連携し、楽しく触れ合い活動ができた。科学遊びと「木育」とのコラボが喜ばれている。</p>		

4	7/9 (金) 10:00 12:00	高校生発！「木のぬくもりふれあい体験」事業	新見高校	県の高校生発！「木のぬくもりふれあい体験」事業との連携で、額縁づくりを通して「木」と関わる活動	高校生 17人 大人 3人 スタッフ 3人	23



目的 高校生に木の加工を通して林業への関心を高める。

内容 新見高校での高校生発！「木のぬくもりふれあい体験」事業は、昨年度に引き続いての授業である。講師は、にいみ木のおもちゃの会メンバーの野田建具店の野田昌輝さん。安来市のTontonの大谷俊行さんのお力をお借りしながらの実施。新見産のヒノキでの額縁製作を行った。

成果と課題 加工技術を身に付けていない生徒が大半だったが、指導者の指示を守り、集中して取り組むことができた。時間内には完成できなかったの、時間配分も配慮していきたい。

5	7/10 (土) 13:00 15:00	新見市社会福祉協議会	新見市社会福祉協議会研修室	夏のボランティア体験 ボランティア研修会での「ヒノキの積み木」磨き活動	生徒 22人 大人 10人 スタッフ 2人	34



目的 「ヒノキの積み木」を磨くというボランティア活動を行い、市内子ども園との交流を図る。

内容 ～笑顔で会えるその日を願って きらりと光る☆夏ボラ！～ 2021 夏のボランティア体験 ボランティア研修会ーコロナ禍で 私にもできる ボランティアー 「新見産ひのきの積み木磨き」のワークショップを行った。市内の保育所や子ども園には、「ヒノキの積み木」を贈呈しているの、磨き作業できれいになった「積み木」を届けることによって、ボランティア活動に繋げていく。

成果と課題 ボランティア活動について、「楽しく」という発想を認識してもらった。コロナ禍で直接子ども園へは行けなかったが。若い世代が、「木」を通しての活動で、多世代との交流が図れたことの意義は大きい。

6	7/20 (火)	夏ボラ積み木磨きプレゼント	新見南認定子ども園	夏ボラで磨いた「ヒノキの積み木」の贈呈し、主旨を理解してもらう	子ども 28人 大人 3人	31



目的 ボランティアで磨いた「ヒノキの積み木」を届け、思いを伝え、感謝の気持ちを育む。

内容 夏ボラで磨いた新見産「クミノ」と新見産「ヒノキの積み木」。新見南認定子ども園に贈呈。新見社会福祉協議会の棟長さんも参加。新見産積み木が、沢山の中学生や高校生のお兄さんやお姉さん達の優しい心に触れてここにあることについてお話しをしていただく。いい塩梅の磨き加減。中高校生達にお願いしたのは、形をできるだけ崩さないソフトタッチの磨き。手触り感を確かめながらの作業。乾いた布で、拭き取ると、漂う木の香り。子ども達には、一人一本ずつの新見産積み木。香りを自ら感じてもらいました。「すげえ、いいにおい」と、木の種類は様々ですが、素直で明るいリアクション。森のこと、木のこと、災害のことについても大型パネルを使ってのお話しをさせていただく。

成果と課題 コロナ禍で、ボランティアに参加した学生達が、直接渡すことができなかった。相互交流によって、温かい心情が養われる。お礼の手紙等での効果的な繋がりも考えていきたい。



ボランティアのコンセプトと「木育」。
社会福祉協議会とのコラボは、今までになかったこと。

7 ● ●	7/24 (土) 10:00 12:00	刑部小学校3年親子学 年支会活動	刑部小学校 体育館	「木」や科学遊びを通して、親子 の豊かな交流活動を図る。	子ども 32人 大人 15人 スタッフ 3人	50
  <p>学年支会活動は、2時間の中での親子の交流をメインにして計画。親子交流は「木育」を展開するのに適している。</p>				目的 「木」に関わる活動を通して、豊かな交流を深める。		
内容 刑部小学校3年生学年支会活動の支援を行った。木のジャン グルジムくむんだーや木工体験、科学遊び、ペットボトルロ ケット大会を通して、豊かな親子体験活動を促した。 支会役員の方との話し合い。学校での2時間の総合学習での 子ども達との時間。互いの距離感を縮めての今日の会となっ た。				成果と課題 事前の打ち合わせや子ども達との交流活動があり、くむんだ ーと環境学習とのコラボも取り組むことができた。		
8 ● ●	7/29 (木) 10:00 12:00	高梁市落合学童保育	落合小学校 体育館	「木」を使った活動や科学遊びを 通した学童保育活動の支援。	子ども 35人 大人 7人 スタッフ 5人	47
				目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。		
内容 落合学童保育には、夏休み中2回の予定。今回はその1回目。 「スーパーボール」、「木たごらすいっち」、「くむんだー」 「言うことを聞く金魚」を展開した。 広い体育館を使用し、子ども達が自由に活動することができ た。「災害」と「森」の話を効果的にパネルを使用して説明し た。単なる体験に終わらせない仕掛けとプログラム展開を必要 としている。				成果と課題 楽しい活動となった。人数が多いため、アクティビティの 間を飽きさせない工夫を必要としている。		
9 ● ●	8/2 (月) 10:00 12:00	高梁市高梁学童保育	高梁小学校 体育館	「木」を使った活動や科学遊びを 通した学童保育活動の支援。	子ども 28人 大人 8人 スタッフ 19人	55
  				目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。		
内容 地域活動への積極的参画。高梁中学校科学部の神原先生 とのコラボは2年目となる。 次世代を担う若い世代の人達、それも世代間を越えた交流は 誰かが意図的に仕組まないと生まれにくい。 6月くらいから日程調整。1.2年生28名。中学校科学部17 名。4グループに分けて、「木のおもちゃ」での交流学習スタ ート。卒業生が多く、お兄ちゃんやお姉ちゃんのことを身近 に感じています。まずは、グループでの自己紹介。 中学生が部活で準備してきた高梁川の環境学習についてのゲ ームも魅力的で、子ども達が熱中していた。				成果と課題 中学生と小学生との「木育」活動の可能性は広がっていく。 正規の授業での取組には時間が掛かるが、できるところから 進めていくことが大切かと感じている。 「木」での繋がりを複合的にマネジメントする先生達がいる と心強く、プログラムが構築しやすい。		

10 ●	8/5 (木) 9:00 12:00	学童リパブリック	御殿町センター	「木」を使った活動や科学遊びを通した学童保育活動の支援。	子ども 10人 大人 6人 スタッフ 1人	17
				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 学童保育リパブリックへの活動支援。 夏休み科学教室。大佐学童保育のメンバーも参加。よく見ると、刑部小学校3年生学年支会活動に来ていた子ども達。環境学習も含めた体験活動を行いました。</p> <p>成果と課題 同学年での交流活動を「木」と科学遊びで展開しました。「木」の素材を活かしたものづくりや環境学習のメニュー開発をしていくことの重要性と系統的なプログラム。大切です。</p>		
11 ● ●	8/10 (火) 9:00 12:00	高梁市立松原小学校 学童	高梁市立松原小学校 学校体育館	「木」を使った活動や科学遊びを通した学童保育活動の支援。	子ども 12人 大人 3人 スタッフ 3人	18
				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 高梁市立松原小学校の学童保育への活動支援。昨年度から、高梁中学校科学部と連携。今年は、木のジャングルジム「くむんだー」に挑戦。12名の子ども達と2人の支援員さん。高梁中学校科学部顧問の神原先生とお子さん、そして、科学部副部長の下口さん、藤本。8時半から準備、10時開会。「3時間」のワーク。「くむんだー」は、子ども達に考えさせる方法。これも学び。自分ごととして捉えると動きも違う。</p> <p>成果と課題 自分達で考えて組み立てる、解くという過程。いつもほしない展開でしたが、知的創造力を養う効果的な活動となりました。</p>		
12 ■	8/12 (木) 13:00 15:00	第4回森のゆうえんち ③実行委員会	新見公立大学 ミーティングルーム	内容の決定と講師等の協議を進め、チラシ作成をする。	学生 7人 大人 2人	9
				<p>目的 チラシの原案を作成する。</p> <p>内容 「第4回森のゆうえんち in にいみ」の第3回実行委員会を新見公立大学で開催した。令和3年度備中県民局提案型協働事業としての取り組み。若い世代が自分ごととして捉える「木育」イベント交流。初の試み。実行委員長は健康保育科2年の中山さん。事務局は「にいみ木のおもちゃの会」。10人のコアメンバーは、各種アクティビティの担当チーフとして、活動。現在、学生ボランティアスタッフも20名近く参集。そこに、スタッフや中学生、高校生ボランティアも入ると約50名の大所帯に。コロナ禍をくぐり抜けての次世代の若者達と共に前に進んでいく「大学に遊びにおいでよ」の会。</p> <p>成果と課題 夏休み中の前の会。チラシを作成するのタイムリミット。他団体がいないため、学生自らが発案し、空間をデザインしていく。知らないことや分からない部分については、レクチャーを行うが、「やってみよう」ということは基本的にオールフリーで進めていった。</p>		

13 ● ●	8/16 (月) 9:00 12:00	大佐風の子学童保育	大佐田治部小学校体育館	「木」を使った活動や科学遊びを通じた学童保育活動の支援。	子ども 19人 大人 12人 スタッフ 3人	34
				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 大佐学童保育「風の子」での「木育」&環境学習を行った。今年スタートをきった「大佐風の子」。体育館と運動場を活用しての2時間。サイエンスショーは、「磁界」の巻。子ども達の発達段階と興味関心の度合いに合わせて、ファジーに展開。 体育館では、「くむんだー」ワークをたっぷり味わった。環境学習とのコラボを、学年差のある集団に展開した。</p> <p>成果と課題 「木育」では、「くむんだー」ワークが主になる。子ども達の興味関心や集中力をもちながらの2時間のプログラム。どの子も夏の日の貴重な体験ができていた。</p>		
14 ●	8/18 (水) 9:00 12:00	高梁市落合小学校学童保育	高梁市落合学童保育	「木」を使った活動や科学遊びを通じた学童保育活動の支援。	子どものべ37人 大人 5人 スタッフ 1人	43
 <p data-bbox="86 1339 707 1435">長期休みは定期的に訪れている。学年差があるが、逆に「木育」プログラムを展開、実施していく上での拡がりがある。</p>				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 高梁市に大雨警報が出たため、予定していた高梁中学校科学部の生徒とのコラボ実現できず。ということで、室内と屋外を使っての「プリプリスライム」と「葉脈葉」づくり。 子ども達のリクエストは、何が何でも「プリプリスライム」。久しぶりの外での活動。金属製のボールの中で、「プリプリスライム」の感触。充分遊んだ子から中での「葉脈葉」づくり。終の葉を水酸化ナトリウムで溶かしたスケルトンリーフを使った葉づくり。美しい葉脈に葉っぱのしくみを体感。</p> <p>成果と課題 高梁中学校科学部とのコラボ活動だったが、警報が出て中止。「くむんだー」の代わりに「葉脈葉」づくりとなる。</p>		
15 ● ●	8/19 (木) 9:30 12:10	高梁市高梁小学校学童保育	高梁市立高梁小学校体育館	「木」を使った活動や科学遊びを通じた学童保育活動の支援。	子ども 25人 大人 8人 スタッフ2人	35
  <p data-bbox="70 1912 707 2033">100人近い学童保育。低・中と分けての活動。高梁中学校科学部とのコラボは定着しているので、中学生が主体的似活動できる「木育」プログラムの開発をしている。</p>				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 9時30分から12時10分。2時間40分。夏休み、開放的な気分の中の「木育&環境学習&科学遊び」。 大雨警報が出たため、高梁中学校科学部は参加できず。 3. 4年生の発達段階に合わせたパネルでの「土砂災害」と「自然保護」のお話し。支援員の方と協力しながらの「くむんだー」や環境学習に繋げていった。</p> <p>成果と課題 元気のいい3.4年生だったが、集中してすべてに取り組むことができた。子ども目線でのプログラム展開が功を奏した結果だった</p>		

16 ●	8/22 (日) 9:00 12:00	新見市立高尾小3年生 学年支会活動	新見市立高尾小 小学校体育館	「木」を使った活動や科学遊びを 通した学童保育活動の支援。	子ども19人 大人22人 スタッフ2人	43
				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 高尾小学校3年生学年支会活動支援。高尾小学校は、保護者奉仕活動日。作年度に引き続き親子支会活動。三密に気を使いながら、できるだけ屋外でのアクティビティ。良く飛ぶ飛行機や「ヒノキの積み木」を使ったアクティビティなど親子で楽しむことができるプログラム展開。</p> <p>成果と課題 三密を避けながらの親子活動では、場所の分散等、配慮しながらの活動となった。子ども達と親との自然体験クイズは、好評だった。</p>		
17 ● ●	8/23 (月) 9:00 12:00	新見市唐松公民館	新見市唐松 公民館研修室	「木」を使った活動や科学遊びを 通した支援。	子ども34人 大人11人 スタッフ2人	47
				<p>目的 「移動おもちゃ広場」を開催することにより、木に触れ、木に親しませる。豊かな感性を養う。</p> <p>内容 唐松公民館主催「木育」&「科学遊び」は、10年間継続している。朝の学習からのお楽しみ会繋がり。初めての「くむんだー」ワークは、地元のボランティアスタッフの方のご協力により、スムーズな展開に。</p> <p>成果と課題 恒例行事として定着してきている。学年ごとに興味関心は違うが、ブース形式のプログラムで、子ども達は「木」と「科学」を自由に楽しんでいた。</p>		
18 ■	9/9 (木) 18:00 20:00	第4回森のゆうえんち inにいみ ④実行委員会	新見公立大学 ミーティング ルーム	教育実習を前に、全体での悩みの 共有と共通理解の場。	大学生 9人 教員 2人 スタッフ 3人	14
				<p>目的 11月7日に向けてのモチベーションを上げる。</p> <p>内容 「不安感、孤独感」から「チームで支え合い」へ × グラレコ 教育実習を控え、そうでなくとも忙しい学生達。その上にイベントの準備。一人一人が抱えている「不安感、孤独感」。「何とかしたい」 平日の午後6時から8時。新見公立大学。岡山から急遽グラフィックファシリテーターの北浦菜緒さんにおいでいただきました。 「全体のベクトル合わせをしようの会」。「第4回森のゆうえんちinにいみ」のコアメンバー9人と「にいみ木のおもちゃの会」の吉良副代表と私。 物語は続きます。</p> <p>成果と課題 北浦菜緒さんのファシリテーター。全員での不安間と孤独感の解消ワーク。ベクトル合わせが上手くできた。</p>		

19 ●	9/25 (土) 13:00 16:00	新見中央図書館おもちゃひろば	新見中央図書館	木のおもちゃやボードゲームを通じて豊かな交流体験を促す。	子ども 8人 大人 5人 スタッフ 5人	18
   <p data-bbox="71 667 730 741">おもちゃ広場だけでなく、居場所づくりとしての場の活用を行っている。</p>				<p>目的 木のおもちゃやボードゲームを通じての豊かな交流促進。</p> <p>内容 月の第四土曜日、新見中央図書館市民学習室において、ボードゲーム&木育ひろばを開催している。4年目となる。毎回、10名程度の参加があり、恒例行事として、熱烈なファンもいる。最初は、大人向けのボードゲームが多かったが、幼児から楽しめるゲームを揃え、幅広い層への拡がりを進めている。</p> <p>成果と課題 定期的で開催していることが、「そこに行けば誰かに会える」という安心感に繋がっている。大学とのコラボ企画も実現させていきたい。</p>		
20 ■	9/28 (火) 14:00 16:00	第4回森のゆうえんち inにいみ ⑤実行委員会	新見公立大学 ミーティング ルーム	当日に向けての具体的な取組の協議。	大学生 9人 教員 2人 スタッフ 3人	14
  <p data-bbox="71 1352 730 1397">ホワイトボードでの各ブースのプレゼン。</p>				<p>目的 当日に向けての具体的な取組内容の決定。</p> <p>内容 備中県民局提案型協働推進事業での「第4回森のゆうえんち inにいみ」。教育実習前の打ち合わせ会。学生による「木育」の新しい「カタチ」創出プロジェクト。今回で、5回目となる実行委員会。学生達のコアメンバーに、健康保育科の入江先生と副代表の吉良さん、そして私。新たに看護科の学生さんも参加。前回、グラレコファシリテーターの北浦菜緒さんのワークを受けた彼女達。各PARTの企画案をしっかりとって参加。健康保育科の3年生が主軸の会。10月は、それぞれが実習という忙しさ。それでも、11月7日に会う子ども達や親御さんの笑顔、歓声。そして、自分自身の達成感をイメージし、時間を有効に使いながら話し合い。</p> <p>成果と課題 建設的な協議で、書くブース内容が決定した。</p>		
21 ●	10/1 (金) 9:00 12:00	新見高校	新見高校	子ども園の子ども達への木のおもちゃづくりを行う。	生徒 16人 大人 3人 スタッフ 2人	21
  <p data-bbox="71 2011 730 2056">卒業を控えた3年生との授業は2年目となる。</p>				<p>目的 子ども園の子ども達への木のおもちゃづくりを行う。</p> <p>内容 「高校生発！木のぬくもり体験事業」で、ころころ道づくりを行った。保育園児のために新見高校の16人への「木のおもちゃ」ワークショップ。ガラス玉や鬼くるみが転がる「木たごらすいっち」づくりのパーツの製作。新見産のひのき板を速乾ボンドで接着していく単純な作業。その向こうには、新見の保育園の子ども達の姿が。だれかのために。きっと彼女、彼らは、11月12日に、訪れて一緒に遊ぶ中で、園児の無垢な笑顔と歓声にはっとするに違いない。「木のおもちゃ」が、年齢を越えたこれからの若い世代の架け橋となる。サステナブルワーク。</p> <p>成果と課題 子ども達のためにという意識が、安全で楽しんでもらえるものを作ろうという意識に繋がっていった。「木」と関わりながらものづくりの楽しさも体感していた。</p>		

22 ◎	10/2 (土) 9:00 12:00	74 回植樹祭に向けての苗植え 木育研修会及びフィールドワーク	御殿町センター	7 4 回全国植樹祭に向けての苗植え活動	子ども 12人 大人 8人 スタッフ 5人	25
				<p>目的 全国植樹祭に参加していく意識を育てる。</p> <p>内容 新見リパブリックの子ども達と県から岡山県環境文化 部自然環境課 全国植樹祭推進室田中総括参事、新見地域局 の岡田さん、実技指導に野沢さんが来られての苗植え活動。 森林学習は、小学校 5 年生の副読本に基づいて実施を理解し ていた。自分達の生活の中に、「木」や「森林」は大切だとい うことが理解できた。</p> <p>成果と課題 天候も良く、戸外でのヒノキの苗植えが実施できた。専門の 方のお話しを伺うことが出来、大人も有意義な会となった。</p>		
23 ● ●	10/4 (月) 10:30 12:00	野馳小学校総合学習	新見市立野馳 小学校	5 年生の総合学習での「木育」活 動。「くむんだー」ワークを行う。	子ども 9人 大人 1人 スタッフ 1人	11
				<p>目的 「くむんだー」ワークを通して、木の不思議を体感する</p> <p>内容 5 年生学年支会活動での「くむんだー」ワーク。、コロナ 禍で中止。 「子ども達の豊かな体験は止めない」という熱い想いが、保 護者の方と担任の岡田先生とで合致。親御さんは来れなくと も、総合学習の時間をいただいで「くむんだー&ペットボ トルロケット飛ばし」。10時30分から12時までという貴 重な時間。記念撮影の後、「遊んでみる？」と、私が言った時 の5年生の彼女、彼らの嬉しそうな歓声。 「じゃ、2分間遊んでいいよ」で、始まったのが鬼ごっこで した。ジャングルジムの中での追いかけっこ。いいものです。</p> <p>成果と課題 高学年として取り組む「くむんだー」ワーク。 アプローチを変えることで、発達段階に合った方法が生まれ てきた。</p>		
24 ●	10/17 (日) 9:00 12:00	新見市立塩城小学校 5.6 年	新見市立塩城 小学校体育館	「木」や科学遊びを通して、親子 の豊かな交流活動を図る。	子ども 12人 大人 15人 スタッフ 3人	30
				<p>目的 「木」に関わる活動を通して豊かな交流を図る。</p> <p>内容 イベント型から学習型への「くむんだー」ワークの移行。 5. 6 年生複式学級。女子は一人。学校、それも学級単位で の取組が増えてきました。保護者の方と協力して、やり方を 教えてやるという選択肢。 が、敢えて、子ども達に考えさせてみることに。木のジャン グルジムの構造なんて気にしていない。ましてや木組みの工 法には、縁がない。途中、お父さん達からの助言もみらつて の完成。やりきった感がありました。</p> <p>成果と課題 凄く大きな宿題。子ども達だけで「木のジャングルジム」を 創り上げるには、フィールドワークの前に、リサーチと構想 を練るという段階があるんだと。プログラミング学習にも通 じるものがあると実感。次のワークに繋げることに。</p>		

25 ◎	10/18 (月) 9:00 12:00	哲西中学校3年生の総合的な学習 木育研修会	哲多杜の工房 HANAGI	哲西中学校の3年生の総合学習での見学実習。	子ども 3人 大人 2人 スタッフ 2人	7
---------	-------------------------------	--------------------------	------------------	-----------------------	----------------------------	---



目的
中学生に「木」のクリエイターの仕事を通して、林業や「木」に関わる人達の思いを理解し、木に関わろうとする気持ちを養う。

内容
杜の工房 HANAGI での西中学校3年生の総合的な学習の時間。併せて、「にいみ木のおもちゃの会」の取組を説明する機会をいただきました。地球温暖化の現状と課題について調査し、自分達の考えをまとめたり、地域の将来について提案したり、自分達から発信していく課題学習。まさにSDGs。お役に立てれば。ということで、大学を出て、地域起こし協力隊として新見に来て、そこから独立して木のクリエイターとして活動している佐伯さんの話とワーク。世代感のギャップがない。

成果と課題
若い世代で上手く繋がっていく。実際にものづくり体験もしながらの説明は、とても新鮮。

26 ●	10/24 (日) 9:00 1500	倉敷都市緑化フェア	倉敷市みらい公園	参加者に「木」を通しての触れあ い活動を通して、豊かな交流体験 をしよう。	子ども 86人 大人 72人 スタッフ 6人	164
---------	------------------------------	-----------	----------	---	------------------------------	-----



目的
「木」を通しての豊かな交流体験を促す。

内容
倉敷みらい公園での倉敷都市緑化フェス。好天候に恵まれ、備中県民局提案型協働推進事業関連で、備中県民局のブースでの「木のおもちゃ広場」。昨年に引き続き、2回目。様子がわかったので、今年は、より楽しめるブース展開。床は、ジョイントシート。木目調。木のおもちゃとの相性もよし。ちっちゃな子とお母さん達がくつろげる場所づくり。写真のお母さんと子どもさん。3時間以上、ここに。そして、そばにはおばあちゃんの優しい眼差し。「クミノ」800ピース。大学生とお家作り。手が届かなくなった時から、ピースを渡してくれるお手伝いに。完成したお家での「はい、チーズ」。初めての笑顔。彼女なりに達成感があったのでしょね。「お母さんも中に入れば」との誘い言葉に、お母さん、気持ちよく反応。2年続けてのアンケート実施。昨年を上回る人達からの嬉しい反応。

成果と課題
2年続けてのアンケート実施。「木育」についての認知度が上がってきており、コロナ禍での地球環境に対する意識が、「木」や「森」に対する価値を高めてきている。

経年変化を、同じ場所で記録し、分析、モニターとしての打ち込みもできそうだと感じた。

多様な世代、職種、まさに「生涯木育」の実践をしていく上で、素晴らしい環境である。

交通の便が良い場所での「木育」イベント。木のおもちゃだけでなく、家族で楽しめるプログラム展開。皿回しに夢中。

27 ▼	10/28 (木) 17:00 17:30	森のゆうえんち新見高校説明	新見高校南校地	ボランティアの生徒への 事前説明会	子ども 27人 大人 1人 スタッフ 1人	29
---------	--------------------------------	---------------	---------	----------------------	-----------------------------	----



新見公立大学入学への地域枠があり、27名という今までにはなかった希望者の数。何かをしてみたという思いは、コロナ禍の中でより大きく膨らんでいるようだった。

目的 当日の内容について理解し、担当ブースを決定する。

内容第

第4回森のゆうえんち in にいみ×新見高校ボランティア説明会
何と27名のボランティア。高校1年生から高校3年生まで。当日の午前中に模試があるという状況なのに、この人数。嬉しい、想定外。まずは、「第3回森のゆうえんち in にいみ」での先輩達の感想に目を通してもらうところから。役割分担まで、時間内に決めることができました。

成果と課題 短い時間であったが、当日の内容についての共通理解を図ることができた、書面で、あらかじめ資料を送付し、質問事項を把握しておくことよりわかりやすい。

28 ●	11/2 (火) 9:00 12:00	高梁私立巨瀬公民館	高梁市立巨瀬小学校体育館	巨瀬学区をみんなの力で活性化していく。	子ども 16人 大人 18人 スタッフ 1人	35
---------	------------------------------	-----------	--------------	---------------------	------------------------------	----



目的 巨瀬学区をみんなの力で活性化していく。

内容 公民館行事で、学校と地域を繋げるために、「木育」活動を展開した。地域、学校からスタッフを出し、みんなの力で巨瀬学区を活性化していこうという意識があった。くむんだーやくミノなどの新見産のおもちゃで交流がより深まった。

成果と課題 2年目の会。PTA 活動ともリンクし、手作り感のある温かい会となった。

29 ■	11/3 (水) 9:00 12:00	事前準備会 ◎実行委員会	西方公民館	当日の主立った準備物をコアメンバーで作成し、協議を行う。	学生 10人 大人 2人	12
---------	------------------------------	-----------------	-------	------------------------------	-----------------	----



目的 当日の準備物をつくる。

内容

「第4回森のゆうえんち in にいみ」の準備を西方公民館で実施。10月中は、教育実習だったため、実質の準備会と協議。今、できていることと、これから動いていくこと、準備物に付いての総チェック。購入するモノや作るモノの仕分け作業。各担当ブースの細かいプログラムの見直し。時間を設定しての会。できた PART から、お互い助け合っの動き。

成果と課題

垂れ幕や掲示番等、手間のかかる準備物はほぼ完成。集まって作業できたのが、今回初めて。互いのモチベーションを高めながらの貴重な時間。

祝日で、朝からの実行委員会。短期集中で、みんなで教育実習のことも振り返りながらの準備。できるだけ手作りで。学生達のセンスが光る。

30 ▼	11/4 (木) 9:00 12:00	共生高校説明会	共生高校	ボランティアの生徒への 事前説明会	生徒 4人 大人 1人 スタッフ 1人	6
				<p>目的 当日の内容について理解し、担当ブースを決定する。</p> <p>内容 共生高校インターアクトの4名と担当の先生への事前説明会。第3回の会の説明から始め、各生徒が思っている会の在り方とも呼応しながらの進行を行った。日常的にボランティア活動に関わっている生徒達。</p> <p>成果と課題 ボランティアの仕方についても、ある程度の経験値があり、具体的なイメージの共有ができた。</p>		
31 ▼	11/4 (木) 9:00 12:00	新見公立大学ボラン ティア説明会	新見公立大学	ボランティアの学生への 事前説明会	学生 43人 大人 3人 スタッフ 3人	49
				<p>目的 当日の内容について理解し、担当ブースを決定する。</p> <p>内容 看護科、健康保育科、地域福祉科の3科から学生ボランティア希望者が出てきた。総勢50名。何をするかという不安感もあるが、コアメンバーの学生達が、自ら説明する形をとった。</p> <p>成果と課題 学生自らが運営していく姿が、自分達で作りあげるんだという意識に繋がっていった。</p>		
32 ■	11/6 (土) 17:00 20:00	第4回森のゆうえんち inにいみ ⑦前日準備会	新見公立大学	体育館での準備。当日運営の最終 確認。リハーサル。	学生 40人 大人 18人 スタッフ 12人	70
				<p>目的 当日の運営が円滑にいくように事前準備と協議を行う。</p> <p>内容 新見公立大学の体育館において、最終準備会。大学生40人、一般30人が、午後5時から8時前まで、各担当ブース及びリハーサルを行う。全体進行についての打ち合わせは、パレードの担当者を中心に進行。各ブースの担当者が、当日のボランティアの配置、説明等についての打ち合わせを行った。演題等は、ビニールへの彩色を行い、すべて手書き。準備等で、手薄の所への配置も学生達で行うことができた。コロナ対策での対応についても、共通理解を行った。</p> <p>成果と課題 未知の会への不安はあったが、自分達で作りあげてきたシナリオを忠実に実現させていくワーク。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>基本コンセプトを確認しながら、全体での確認作業。前日ということで、不安もあるが、できていないことよりも、できたことを共有しながらの協議。垂れ幕を横断幕に変更。学生のアイデア。</p> </div>		

33 ● ●	11/7 (日) 9:00 12:00	第4回森のゆうえんち i nにいみ	新見公立大学 体育館 ミーティングル ーム	大学に遊びにおいでよ！ ～木で広がる笑顔の輪～	子ども 93 学生 50 大人 79 スタッフ 180	402
--------------	------------------------------	----------------------	--------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	-----



目的 笑顔でつなげよう。森のゆうえんち。世代間を越え、新しい『木育』のカタチを見つけよう。

内容
第4回森のゆうえんち i nにいみ
10人の学生達の企画から始まった「第4回森のゆうえんち i nにいみ」。子ども達と大人達を笑顔で繋ぐビッグプロジェクト。感謝のゴール。言葉では言い表せないほどの想い。石川さんの新見の音づくりで作ったパーカッションを持ってパレード。この「パレード」の発想も学生達。クール制で総入れ替えによる場の転換。

名残惜しいけど、それを忘れてしまうほどのワクワク感。花道を通して嬉しそうに帰っていくちっちゃな子ども達の姿に愛おしさが込み上げる。

成果と課題
6月から始めた取組が、400名規模の会となった。試行錯誤の連続だったが、それぞれの持ち味を引き出しながら進んできた。

0歳児から3歳児の子ども達が楽しんでくれる会は、誰でも楽しめる。そんな赤ちゃんファースト目線。自然、広い体育館が心地良い空間に。
第3クールは、思い切ってスタッフとボランティアの人達との交流プログラム。音楽とダンス、手話の持つ魅力で、初めて出逢った人同士の距離感が縮まっていく。みんなで創り上げた一体感。

34 ■	11/7 (日) 9:00 12:00	第4回森のゆうえんち i nにいみ ⑧実行委員会	新見公立大学 体育館	大学に遊びにおいでよ！ ～木でつながる笑顔の輪～	学生 10人 スタッフ 6人	16
---------	------------------------------	--------------------------------	---------------	-----------------------------	-------------------	----



目的 振り返りでお互いのがんばりを共有しよう。

内容
すべての片付けが終わってからの振り返り。コアメンバー一人一人からの感想発表。大学教員、事務局スタッフからの感想と学生達への賞賛。やらされ感ではなくやりきった感。準備期間は長くと初めての体験。前に進むしかないけれど、不安感と焦燥感。一人だけではないということに気づいたときからの再スタート。モチベーションが上がってくる。表情も明るくなる。すべてがポジティブシンキング。


Excellent job !


成果と課題
第5回森のゆうえんち i nにいみへのスタートを切った。次のコアメンバーへの繋がりをもち、積み上げてきた成果を引き継いでいってもらいたい。反省会が、コロナ禍のためなかなかできない。今回の企画運営の総括と次へのステップアップの提言をしておきたい。

学生ファーストの視点で貫いた実行委員会。新見公立大学健康保育科の3年生は、4年制大学での初めての卒業生。未知のイベントに挑戦していくことが、伝統の出発点。10月の教育実習という大きな行事での体験も力に。彼女達の後ろ姿に惹かれ、次の世代が育っていく。エベレスト級の高い山にみんなで登った気分。見晴らしは最高。

35 ●	11/9 (火) 9:00 12:00	神代小学校・神郷北 小学校合同遠足	神郷温泉	神郷温泉での環境学習 自然の中での体験学習	子ども 25人 大人 11人 スタッフ 8人	44
				<p>目的 自然の中での豊かな体験をしよう。</p> <p>内容 神代小・神郷北小合同遠足を一般社団法人杜守とのコラボ企画。「子ども達に本物を」の想いは同じ。そして、互いに熱い。ネイチャーゲームとペットボトルロケット大会をミックスしての活動。神郷温泉の芝生グラウンドを活用しての自然を活かしたダイナミックなプログラム。</p> <p>成果と課題 グラウンドの芝生化は、1年前。関わった時から、芝生の上でのイベントを企画。子ども達が、自然の中で思いっきり活動できるプログラムとして定着を目指している。</p>		
<p>ネイチャーゲームのフィールドとして、素晴らしいロケーションとインストラクターの方達のお人柄で、多くの学びと気づき。</p>						
36 ●	11/12 (金) 9:00 12:00	新見中央認定子ども園 への木のおもちゃ贈呈	新見中央認定 子ども園	新見高校生が製作した新見産ヒノ キで作った木のおもちゃの贈呈と 一緒に遊ぶ会	子ども 35人 生徒 16人 スタッフ 3人	54
				<p>目的 子ども達に木のおもちゃをプレゼントし、一緒に遊んで喜んでもらう。</p> <p>内容 「高校生発！木のぬくもり事業」で、高校生達と「新見産木のおもちゃ」を製作。新見中央認定子ども園にプレゼント。「木たごらすいっち」的な玉転がし。高校生のお兄ちゃんやお姉ちゃんが遊んでくれるというだけで大喜び。備中県民局提案型協働事業での「新見産ひのきの積み木500ピース」も贈呈。</p> <p>成果と課題 高校生が丹精込めて製作した木のおもちゃを実際に遊びの中で使ってもらえることで、ものづくりの喜びを体験することができた。</p>		
<p>高校生は、ちっちゃい子と関わると、本当においお兄さん、お姉さんになる。日頃から交流の場があるといいと感じた。</p>						
37 ● ●	12/5 (日) 9:00 12:00	里庄町「わくわく木 育&科学遊びの会」	里庄中学校 体育館	教育委員会主催の「木育&科学遊 び教室」	子ども 79人 大人 71人 スタッフ 5人	155
				<p>目的 みんなで「木育&科学遊び」を楽しもう。</p> <p>内容 里庄町でのわくわく科学ランド&木育あそび・まなび広場。今年で通算5回目。幼児18名、小学生61名、保護者53名、中学生ボランティア4名、一般ボランティア6名、教育委員会3名 計155名。オープニング。身体と心のほぐし。手話合唱も交えながらの2時間。町長さんや教育長さんも最後まで参加して下さったの会。ボランティアの子ども達と豊かな体験交流が実現。</p> <p>成果と課題 定例行事手的な活動になってきた。町教育委員会の主催のため、施設の暖房や人的配置など至れり尽くせり。好環境の中でのワークは、双方向に上手く発展していく。</p>		
<p>町民を対象とした「生涯木育」の取組。</p>						

38 ●	1/4 (火) 9:00 12:00	新見市矢神小学校 学童保育	新見市矢神小学 校学童保育	クミノのワークショップ	子ども 2人 大人 1人 スタッフ 1人	4
				<p>目的 新見産ヒノキのクミノで、ドミノ倒しをしよう。</p> <p>内容 クミノでのドミノ倒しに挑戦。組み立て方の種類は豊富な「クミノ」。日頃挑戦できない組み方に子ども達と共に挑戦。2時間でのワークはに子ども達も熱中。</p> <p>成果と課題 人数は少ないが、3年生の男子児童のやる気スイッチに火が付く。遊び方や組み立て方のルーティーンが確立しているので、発達段階やニーズに合わせたプログラムを提示できる。</p>		
39 ● ●	1/22 (土) 9:00 12:00	新見市正田公民館放課 後子ども教室	新見市正田 公民館	環境学習「ロボ木ーづくり」と「く むんだー」ワーク	子ども 13人 大人 8人 スタッフ 3人	24
 <p>公民館での放課後子ども教室での「木育」の展開を今後も広く取り組んでいきたい。</p>				<p>目的 「木」と仲良くなろう。</p> <p>内容 新見市正田放課後子ども教室での環境学習&「くむんだー」地域のシニアクラブ員が協力。できる限りの3密を防ぐ手立てをしながらの2時間。小学校1年生から6年生までと幅広い参加者。ニーズに合わせたプログラム展開。「ロボ木ー」のものづくりは、子ども達の興味関心に繋がり、環境問題の話へと上手く展開できた。</p> <p>成果と課題 ものづくりを通しての環境学習は、子ども達にとってわかりやすいプログラムである。なかなか手に入らない「ロボ木ー」のオリジナルを製作することも考えている。</p>		

40 ■	3/16 (水) 9:00 12:00	自然体験学習研修会	哲西町市岡の森	岐阜県森林文化アカデミーの 荻原・ナバ・裕作准教授をお招き しての自然遊び研修会	子ども 1人 大人 15人 スタッフ 5人	21
 <p>自然遊びの第一人者、ナバさんとの出会い。</p>				<p>目的 自然遊びを体感し、里山を遊び尽くそう。冒険遊び場や森の幼稚園の先駆的实践者から学ぶ、子どもの発達を促す自然遊び。</p> <p>内容 自然遊びの理論的研修とフィールドワークを重ねながらの研修会を開催する。</p> <p>成果と課題</p>		

41 ●	3月 初旬 予定	私立3保育所への ヒノキの積み木設置	市内3保育所	3保育所にヒノキの積み木を設置 する。	子ども 大人 スタッフ	人 人 人
 <p>昨年度草間代保育所への設置</p>				<p>目的 新見産のヒノキの香りと質感を体感することにより、豊かな心情を育む。</p>		
				<p>内容 新見産ヒノキの積み木で、五感を働かせ、遊ぶことによつて豊かな心を育てる。</p>		
				<p>成果と課題</p>		

活動内容の回数

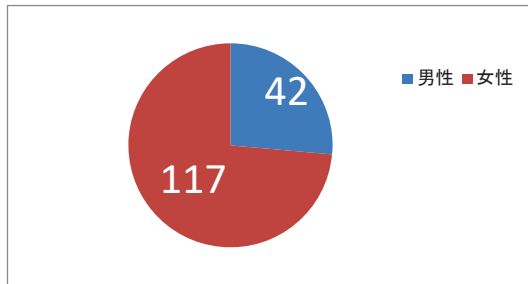
活 動 内 容	回 数	人 数
● 「移動おもちゃ広場」及び「ものづくりワーク	25回	1434人
● 「くむんだー」ワークショップ	11回	913人
■研修 (実行委員会を指導者養成に位置づけた)	8回	のべ112人
▼高校生・大学生への説明会 (森のゆうえんち)	3回	84人
◎総合学習での木育	1回	3人
■木育研修会(自然遊び)	1回	20人(予定)

くらしき都市緑化フェア2021 アンケート集計結果

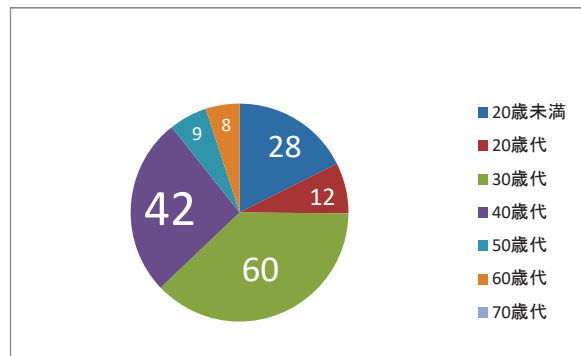
令和3年(2021年)10月24日(日)

倉敷みらい公園

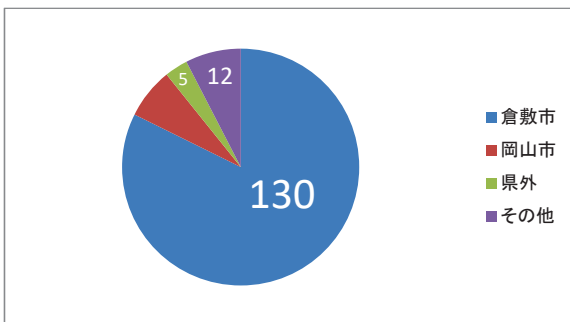
Q1 あなたの性別をお聞かせください。



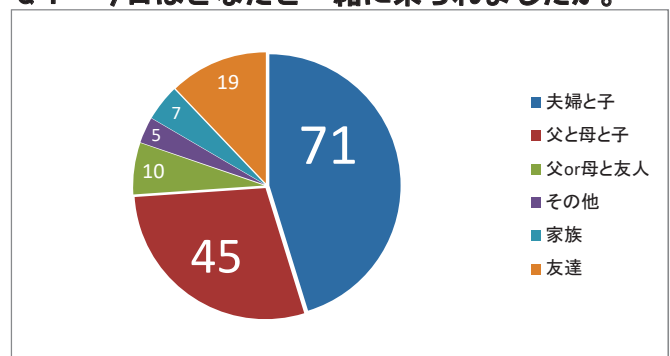
Q2 あなたの年齢をお聞かせください。



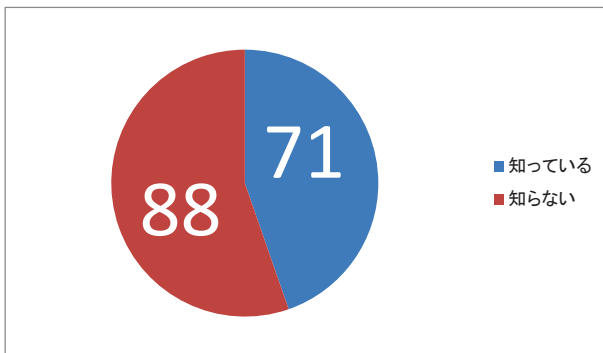
Q3 お住まいはどちらですか。



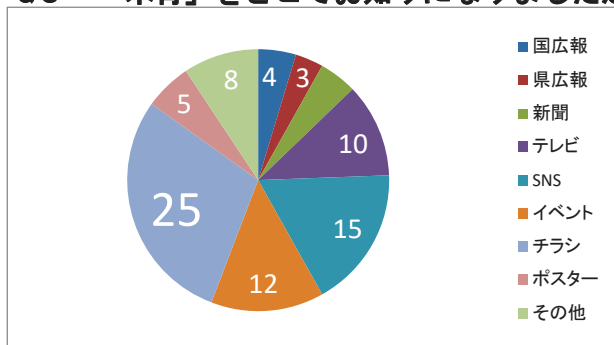
Q4 今日はどなたと一緒に来られましたか。



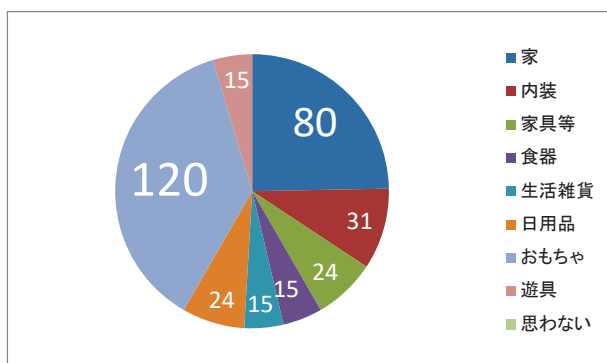
Q5 「木育」ということばはご存知ですか。



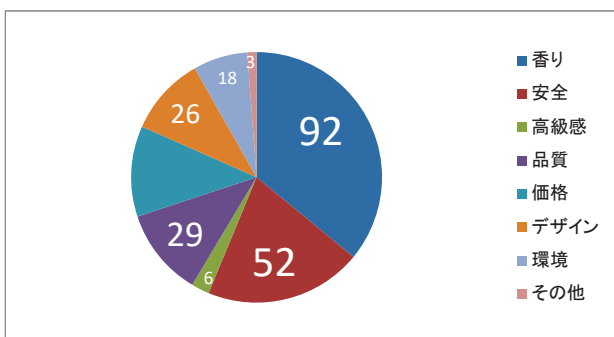
Q6 「木育」をどこでお知りになりましたか。



Q10 興味のある木製品は何ですか。(複数可)



Q11 選択の基準は何ですか。(複数可)



都市緑化フェア

Q9 木のおもちゃに触れてみて、子育てや生活の中で見直してみたいと思われたことはありますか。

- ① 思いますが、価格が高い所は、少し手が届きませんね。(女性・40代・倉敷市)
- ② 木のできたおもちゃや文具などを好んで購入しています。(少しですが)。(女性・50代・倉敷市)
- ③ 子どもと自分で木を彫って、お皿などを作る体験に参加させています。(女性・30代・倉敷市)
- ④ ゲームなど一方的な遊びではなく、ふれあいの時間を大切にしたい。(女性・40代・倉敷市)
- ⑤ テレビばかり観ないようにしたい。(女性・30代・倉敷市)

- ⑥ 生活の中に取り入れてみたい。(女性・60代・倉敷市)
- ⑦ ゲームもいいけど自然のおもちゃもいいなと思った。(女性・30代・倉敷市)
- ⑧ 身近なアイテムで、木製品を取り入れたいです。(女性・40代・倉敷市)
- ⑨ 木のぬくもりにつながるもの。(女性・30代・倉敷市)
- ⑩ 電池を使ったおもちゃが多いので、木のおもちゃを取り入れてみたいです。(女性・30代・倉敷市)

- ⑪ 孫を通じて、機会が増えそうに感じる。(女性・60代・倉敷市)
- ⑫ ゆとりを持ちたいですね。(男性・30代・倉敷市)
- ⑬ もっと自然との触れあいが大切だなと感じました。(女性・40代・倉敷市)
- ⑭ プラスチックよりずっと良いと思います。(男性・30代・倉敷市)
- ⑮ 木のおもちゃは、ぬくもりを感じられていいと思った。(女性・30代・倉敷市)

- ⑯ なるべく木製品をと思った。(男性・30代・倉敷市)
- ⑰ あります。(女性・30歳・倉敷市)
- ⑱ ゲーム以外でも遊ばせたい。(女性・40代・倉敷市)
- ⑲ 木のおもちゃでどんどん遊ばせたい。(女性・40代・倉敷市)
- ⑳ あります。(女性・40代・倉敷市)

- ㉑ 取り入れてみようと思った。(女性・40代・倉敷市)
- ㉒ 自然のおもちゃを利用していく。(男性・30代・倉敷市)
- ㉓ ナチュラル志向。(女性・40代・倉敷市)
- ㉔ プラスチックのおもちゃを木にする。(女性・40代・倉敷市)
- ㉕ 元々、木が好きで、いろいろなおもちゃを持っていましたが、ブロック数を増やしてあげたいなと思いました。(女性・30代・倉敷市)

- ㉖ もっと知りたいです。(女性・20代未満・倉敷市)
- ㉗ このまま、木製中心のおもちゃ等を揃えたいと改めて思いました。(女性・30代・倉敷市)
- ㉘ もっとときがなるおもちゃが買えるような場があるといい。(女性・30代・倉敷市)
- ㉙ 木のおもちゃがたくさんほしい。(女性・40代・倉敷市)
- ㉚ 極力外で遊ばせたいです。(男性・40代・倉敷市)

- ㉛ やわらかい雰囲気、改めて木の暖かさを感じた。(女性・30代・倉敷市)
- ㉜ 上質な木のおもちゃを与えたいが、値段が高くあきらめたことがある。(女性・40代・倉敷市)
- ㉝ キャンプが好きなので、もっと木と触れ合える所をさがしたい。(女性・30代・倉敷市)
- ㉞ プラスチックのおもちゃより値段が高いが買ってみた。(男性・30代・倉敷市)

都市緑化フェア

Q7.「木育」とは、木に関わり、木と親しむことにより心豊かな生活を目指そうという考え方です。「木」について、身近に感じられたことはありますか。

- ①玩具として使用している時に感じます。(女性・40代・倉敷市)
- ②素敵な家を見たときに思います。自分の家は、マンションなのであまりないです。(女性・30代・倉敷市)
- ③イベントでの木のおもちゃで感じました。(女性・30代・倉敷市)
- ④玩具として使用している時に感じます。(女性・40代・倉敷市)
- ⑤小さい頃積み木でよく遊んでいた。子どもも遊んでくれた。(男性・30代・倉敷市)
- ⑥キャンプでくつろいでいる時、木を身近に感じます。(女性・30代・岡山市)
- ⑦積み木を子どもが重ねて遊んでいる時(女性・30代・倉敷市)
- ⑧子ども達のおもちゃは、木のおもちゃを選びたいと思っています。職場では、木のおもちゃ遊びをしています。(女性・50代・倉敷市)

- ⑨夏の日差しをさえぎる木のありがたさを感じた時、木を身近に感じます(女性・40代・倉敷市)
- ⑩洗濯板やまな板から、ヒノキのいいにおいを感じます。(女性・30代・倉敷市)
- ⑪ネイチャーゲームです。(男性・40代・倉敷市)
- ⑫木のおもちゃや家を見たときに感じます。(女性・30代・倉敷市)
- ⑬積み木やきのおもちゃで遊んでいる時。公園での散歩です。(女性・30代・倉敷市)

- ⑭家でも木製のおもちゃを中心に買っています。(女性・30代・倉敷市)
- ⑮木のぬくもり。触れても良い。(男性・20歳未満・倉敷市)
- ⑯学校が木を植えている。(女性・20歳未満・倉敷市)
- ⑰小さい頃、木製のおもちゃが一番馴染みやすく気に入っていた。(女性・30代・倉敷市)
- ⑱竹とんぼとか近所のおじさんによく作ってもらいました。(男性・40代・倉敷市)

- ⑲小学校でのキャンプ。山の中で。(女性・40代・倉敷市)
- ⑳家で木を使ってものを作ったことがある。(男性・20代・倉敷市)
- ㉑積み木で遊んでいること。(女性・30代・倉敷市)
- ㉒キャンプ場。(男性・30代・倉敷市)
- ㉓木のおもちゃで遊んでいる時やおもちゃ売り場。(女性・40代・倉敷市)

- ㉔木の物を使うように心がけています。積み木や食器などヒノキボールをお風呂に入れてあります。(女性・40代・倉敷市)
- ㉕子どもの頃を思い出します。(女性・40代・倉敷市)
- ㉖公園などで遊ぶ時です。(女性・30代・井原市)
- ㉗あまりないです。(女性・40代・倉敷市)
- ㉘積み木が好きです。(男性・30代・倉敷市)

- ㉙キャンプ(男性・50歳・倉敷市)
- ㉚木のボールプール(女性・40代・倉敷市)
- ㉛きのおもちゃで遊んでいる子を見たとき。(女性・20代・倉敷市)
- ㉜家に木のおもちゃがあります。(女性・30代・倉敷市)
- ㉝たき火をしたいのに、母がさせてくれなかった。(女性・20代・倉敷市)

- ㉞木のままごとうそびが自宅にあり、子どもがよく遊んでいます。(女性・40代・倉敷市)

都市緑化フェア

Q8 子ども達の遊びの様子を見て、感じられたことはありますか。

- ① 夢中に遊んでいる。楽しそう。(女性・30代・倉敷市)
- ② とても集中して遊んでいます。(女性・30代・岡山市)
- ③ 自分で木を重ねて、ビー玉転がして楽しそうでした。(女性・30代・倉敷市)
- ④ 木のおもちゃだとのめりこんで遊んでいる。(女性・40代・倉敷市)
- ⑤ いい香りの中、集中して楽しんでいた。私も癒やされました。(女性・30代・倉敷市)

- ⑥ イキイキしていました。(男性・40代・倉敷市)
- ⑦ 考えながら遊んでいる感じがあった。(女性・30代・倉敷市)
- ⑧ 小さい頃からの好みは変わらないなと感じました。(女性・30代・倉敷市)
- ⑨ 羨ましいくらいに楽しそうでした。(女性・30代・倉敷市)
- ⑩ 楽しそうだった。木の香りが良い。(女性・50代・倉敷市)

- ⑪ 楽しそう。(女性・40代・倉敷市)
- ⑫ 楽しかった！！(女性・20代・倉敷市)
- ⑬ シンプルな木のおもちゃの方が、色々なカタチをイメージしやすい。またやりたいです。(女性・40代・倉敷市)
- ⑭ 生き生きと楽しんでます。(女性・30代・倉敷市)
- ⑮ 可愛い。(女性・30代・倉敷市)

- ⑯ 子どもの姿が愛らしい。(女性・70代・倉敷市)
- ⑰ 木のぬくもりと自然。(女性・30歳・倉敷市)
- ⑱ アナログの玩具の方が楽しんでいる。(女性・20歳未満・倉敷市)
- ⑲ 自由に楽しそうに遊んでいました。ご飯も食べずに。(女性・30代・倉敷市)
- ⑳ 木のおもちゃは手に優しい、そして手触りが良い。(女性・40代・倉敷市)

- ㉑ 木に触れていると穏やかな気持ちになる。(女性・40代・倉敷市)
- ㉒ 普段手にしたことのないおもちゃで、とても楽しそうでした。(女性・30代・倉敷市)
- ㉓ 子どもがのびのびしている。(女性・40代・倉敷市)
- ㉔ 木の優しさに癒やされました。(女性・40代・倉敷市)
- ㉕ 木のおもちゃは、安全でのびのびというイメージがあります。(女性・40代・倉敷市)

- ㉖ 木に触れていると安心します。においや肌ざわりもいいですね。(女性・40代・倉敷市)
- ㉗ 自分達で工夫して遊んでいました。(女性・40代・倉敷市)
- ㉘ 去年も来て楽しかったので、今年も来ました。楽しかったです。(女性・30代・倉敷市)
- ㉙ イキイキしてます。(女性・40代・倉敷市)
- ㉚ 集中力と好奇心。(女性・60代・倉敷市)

- ㉛ 木のおもちゃで、知らないお友達と遊ぶこともできました。(女性・30代・倉敷市)
- ㉜ 楽しそう。(女性・40代・倉敷市)
- ㉝ 可愛らしい。(女性・20代・倉敷市)
- ㉞ 子ども達の様子が本当に可愛い。(女性・30代・倉敷市)
- ㉟ 木のおもちゃを大切に扱っていました。(女性・20代・倉敷市)

- ㊱ 木のおもちゃの音がやさしくて心地良かった。(女性・40代・倉敷市)
- ㊲ 木材でいろいろな遊びができることがわかった。(女性・30代・倉敷市)
- ㊳ 楽しそう。(女性・40代・倉敷市)
- ㊴ 集中していた。(女性・40代・倉敷市)
- ㊵ みんな楽しんでいました。(女性・50代・倉敷市)

都市緑化フェア

Q12 岡山県の特産材といえば「ひのき」です。県産材の利用拡大のために効果的なアプローチのお考えがあればお書きください。

- ①「ヒノキ」の積み木があり、すごいと思いました。幼稚園では、カプラという積み木で、子ども達はよく遊んでいるので、素材がいろいろあればおもしろいと思いました。(女性・30代・倉敷市)
- ②香りがいいので、それが活かせる物をお願いします！(女性・30代・倉敷市)
- ③風呂。(男性・40代・倉敷市)
- ④木のおもちゃを手軽に見て、買える場所があればいいなとよく思います。(女性・30代・倉敷市)
- ⑤芳香剤や香りを楽しめるサシューみたいなものがあると嬉しいです。(女性・30代・倉敷市)

- ⑥岡山からの木の発信、がんばってください。(女性・30代・倉敷市)
- ⑦ひのきのまな板やおもちゃなど、子連れがよく行く店で、もっと気軽に買えるといいなと思いました。(女性・30代・倉敷市)
- ⑧桧は、高級なイメージだが、気軽に生活に取り入れられる方法をアピールしていく。(女性・40代・倉敷市)
- ⑨ヒノキの遊び場をつくる。(女性・30代・倉敷市)
- ⑩桧県材などは、補助金を出すなど、県内での需要を高めることからスタートして、県民意識の向上を図る。(男性・30代・倉敷市)

- ⑪植樹などもやってみたい。(女性・40代・倉敷市)
- ⑫虫がこないヒノキ。ヒノキ風呂。暖かい。(女性・40代・倉敷市)
- ⑬学校用品に使う。(女性・30代・倉敷市)
- ⑭学校の設備。机とか。(女性・40代・倉敷市)
- ⑮私は、ヒバのアロマを使っています。まず、身近なところから興味を持たせてくださると入りやすいです。(女性・60代・倉敷市)

- ⑯ヒノキを使った遊具のある施設作り(女性・30代・倉敷市)
- ⑰ヒノキに関わるイベントを行う(女性・20代・倉敷市)
- ⑱温泉かなあ。お風呂用のヒノキボールもいいですね。(女性・30代・倉敷市)
- ⑲若い世代には、取り入れやすい、丈夫で、価格も手ごろで、デザインが洒落ているものが受け入れやすいと思います。(女性・50代・倉敷市)

○心に残っているepisodeや場面がありましたか。感想をお聞かせ下さい。
高校生

- ①くむんだーを担当しました。子ども達が「楽しかった！またやりたい」と言ってくれたことが心に残りました。
- ②子ども達といっしょに遊ぶのがとても楽しかったです。
- ③子どもと触れあう時間があり、とても楽しい時間でした。
- ④子ども達が話をしているうちに笑顔になってくれたのがうれしかった。
- ⑤普段関わらない人達と交流できて楽しかった。

- ⑥ははは劇場の今井さんの温かい言葉と表情が一番心に残った。
- ⑦木のボールの所で、はじめは自分も慣れなかったけど、小さい子と一緒に遊べて楽しくすることができた。
- ⑧コロナで、人と会ってこんなに楽しく交流できるなんて、最高でした。
- ⑨木のボールで遊ぶコーナーでは、子ども達と身近に関わって楽しく活動することができました。
- ⑩一緒に作った楽器を笑顔で遊んでいた子がいて、とてもうれしかった。

- ⑪遊びに来てくださった子ども達が楽しく、木のおもちゃで遊んで帰ってくれたことです。
- ⑫最初は、おとなしい子だなと思って、木のおもちゃと一緒に遊ぶことで、少しずつ話してくれて、打ち解けることができて楽しかった。
- ⑬木の可能性ってすごいと思った。
- ⑭子どもと一緒におもちゃで遊んだり、演奏したりするのがすごく楽しかったです。ウインドアンサンブルさんの演奏を久し振りに聴けて嬉しかったです。
- ⑮子ども達と楽しく遊ぶことができた。

- ⑯遊びに来てくれた子どもが「ありがとう。楽しかった」と言ってくれてとても嬉しかったです。またとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ⑰小さい子と一緒に葉脈しおりを作ったことが心に残っています。
- ⑱小さい子に「ありがとう」と言われた時が心に残っています。
- ⑲葉脈しおりが完成し、小さい子に渡したときに笑顔になってくれたことです。
- ⑳小さい子と一緒に葉脈しおりを作ったことが心に残っています。

- ㉑小さい子どもと遊んだことです。
- ㉒ままこブースで、遊びが終わった後に、子ども達が「ありがとう」と言ってくれたことと、大学生との交流ができたことです。
- ㉓クミノの中に入ってドームを組み立てた。子ども達の楽しそうに「木のおもちゃ」で遊ぶ姿がたくさん見られたことが良かったです。
- ㉔クミノで積み上げるだけでなく、ピラミッドなどがあり、驚きました。
- ㉕クミノを使って、様々なものを作ることができ、子ども達とも少しですが触れあうことができたので充実した時間でした。

- ㉖子ども達が「木のおもちゃ」一つで遊ぶ時間の長さに驚きました。子ども達と触れあったり、ボランティアとしている人々とコミュニケーションがとれて良かったなと思いました。
- ㉗コロナでたくさんの方ができませんでしたが、こんなふうなイベントができたことがすごいと思いました。子どもだけでなくお父さんやお母さん達の笑顔が心に残りました。
- ㉘クミノを立てている時、中に入るとは、女の子達が一生懸命、そして、楽しそうにしているところを見て、僕も楽しくなり、夢中に行いました。また、壊す時もそうですが、最後まで壊そうとしていた姿がとても可愛かったです。
- ㉙小さい子ども達が、木のおもちゃで楽しく喜んで楽しそうに遊んでいたことがとても嬉しかったです。その子ども達のお母さん達とも交流できて、久し振りに人と交流ができました。ありがとうございました。
- ㉚おままごとで、小さい子と遊んで楽しかった。ボードゲームでは、大学生の方々とゲームをして、大学生、高校生と自然に遊べたことが楽しかったです。
- ㉛沢山のブースで、子ども達、そして大人の方もすごくいい笑顔できらきらしていた姿が心に残っています。

事務局から

人から感謝される体験は、自尊感情につながります。『木のおもちゃ』を通して、こんなにも自然な交流活動ができることに、今更ながら感動しています。

○心に残っているepisodeや場面がありましたか。感想をお聞かせ下さい。
大学生スタッフPART①

- ①くむんだーの時、先輩方の子どもとの関わり方がとても上手で、子どもへの声かけなど、どうすれば良いかを考えたいです。作ったのを見せてくれたり、話しかけてくれたりして嬉しかったです。
- ②くむんだーを沢山の人が協力して作っているところです。
- ③くむんだーの組み立てのところです。
- ④「おもちゃを持って帰る！」と言って、おもちゃを気に入っている様子の子が可愛かったです。
- ⑤子ども達の純粋な姿に心が洗われました。
保護者の方々もみんな優しく良かったです。幸せな気持ちになりました。
- ⑥帰り際に、子ども達が「楽しかった！」と言ってくれたことです。
- ⑦子どもと関わることができたことが嬉しかったです。
- ⑧子どもと一緒に楽器を作ったこと。作り終えた子ども達の笑顔が良かったです。
- ⑨ティンカーベルの子ども達が可愛かったです。
- ⑩ロボ木ーで楽しそうに遊んでいる子どもの姿が印象的でした。
まだ作りたいたいと言ってくれて嬉しかったです。
- ⑪木のおもちゃで子ども達が笑顔になっている姿です。
- ⑫久々に小さい子ども達と関わることができて嬉しかったです。
子ども達との関わり方など、多くのことを先輩から学びました。
- ⑬お気に入りのおもちゃを見つけたり、一つのおもちゃでいろんな遊び方をしてみたりと
- ⑭子どもと一緒におもちゃで遊んだり、演奏したりするのがすごく楽しかったです。
楽しんでくれていたので良かったです。
- ⑮丸太切りで、小学生が自分で切れたとき、子どもが達成感を感じている姿を間近で見たことです。
- ⑯楽しませようとしていましたが、逆に、丸太を切って喜ぶ姿、アンサンブルさんの演奏で、
私が元気をもらいました。
- ⑰遊んだ後に、保護者の方から「ありがとう」と言われたのが嬉しかったです。
- ⑱木のおもちゃで遊んでいる子ども達。
「わっ」と驚いた表情、そして、その後笑顔になっていたのが印象的でした。
- ⑲「第2クール」での木のメダルで、お母さんへのメッセージを大きいメダルに書いている子がいて、
心が温くなりました。
- ⑳小さい子と一緒に葉脈しおりを作ったことが心に残っています。
- ㉑最初は恥ずかしくて、お母さんから離れない子も、自分達が楽しく遊んでいると、だんだん遊んでくれるようになりました。一緒に遊べて楽しかった。
- ㉒最初にあまり話してくれなかった子が、何分も遊んでいる内に
笑顔で遊んでくれるようになって嬉しかった。
- ㉓木の玉プールで、小さい子が一緒に遊んでくれたこと。
- ㉔受付やくむんだーで、保護者の方や子ども達と触れあって楽しそうな子ややんちゃな子など
様々な人達と関わったので良い経験になりました。
- ㉕3年生の先輩が、子ども達に話しかけたり、支えたりしている場面。
- ㉖学生ボランティア、スタッフ。会場参加者が生き生きと良い顔で楽しんでいたこと。
遠隔ロボットが印象に残っています。
- ㉗子ども達が楽しそうにできて良かったです。自分も同じように楽しめました。
- ㉘小さい子ども達と一緒に楽器を作ったこと。嬉しそうに見せてくれて、自分も嬉しくなった。
- ㉙葉脈しおりづくりで、ラミネートがなくなるくらいたくさん子ども達が来てくれ、
みんな楽しそうにしてくれたのが嬉しかったです。
- ㉚いろいろなものを、自分で進んで見つけてやってみる場所になっていた。
お客さんがとても楽しむ様子を間近で見られた。

○心に残っているepisodeや場面がありましたか。感想をお聞かせ下さい。
大学生スタッフPART②

- ①小さい子がクミノの下をはいはいでくぐっていたところ。
直接木に触れていないくとも、木と関わるという経験をしている姿が印象に残った。
最後のパレードで、会場が一つになったこと。
- ②クミノをティンカーベルの子達とした時に、ドミノを作ったり、家のようなものを作ったりして時、
みんなで協力してしたので、できたときの達成感が強かった。
- ③どのブースも子どもが本当に楽しそうに笑って遊んでいた。
- ④自分で作ったロボ木を嬉しそうに見せてくれる男の子がいました。
楽しんでくれていたんだと思うとこちらまで嬉しくなりました。
- ⑤子ども達の純粋な姿に心が洗われました。

- ⑥子ども達がとても楽しそうに遊んでいたこと。
- ⑦くむんだーで高い所に登って、お母さんを探して、お母さんに見せたがっていた所。
- ⑧クミノの時に、たくさん子ども達が来てくれ、「楽しかった」と言ってくれたことや帰りに
「帰りたくない」と泣いている子を見て、楽しんでもらって良かったと思いました。
- ⑨子ども達が笑顔で、「楽しいね」と声をかけてくれたことが、印象に残っています。
- ⑩木のおもちゃが面白かった。

- ⑪木の香りに癒やされました。
- ⑫すごく熱心にバンドーラ作りを体験していた。
自分の好きなおもちゃを見つけて自由に楽しそうに遊んでいた。
- ⑬くむんだーや木の玉プールを担当して、子どもの笑顔が見られたり、
「楽しい」という言葉を聞くことができたりして嬉しかった。
- ⑭最後に、女の子が「ありがとう」と、木の名札をくれたことが印象に残っています。

事務局から

健康保育科、看護科、地域福祉科の3学科がスタッフに加わった記念すべき会でした。
母親や家族との関係性にも心を動かしているのは、自分自身の将来のキャリアへ繋げて
いこうとしている意欲の表れだと思いました。

○運営等でお気づきのことがあればお書きください。

高校生

- ①子どもがどうすれば楽しめるかを分かっているのがすごいと思った。
- ②ブースごとに分かりやすい説明があると、もう少しみんなが入ってきやすいのではないかと思います。
- ③大学生ってすごいなと思いました。
- ④説明がなかったので、何をすればよいか分かりづらく大変でした。各ブースに説明書きがあれば、もう少しわかりやすいのではと思った。
- ⑤自分がこの会を進めていく立場で動いてみました。とても魅力的な会なんだと思いました。

- ⑥最初の説明がなくて少し困りました。
- ⑦担当の方がとても優しく教えてくださって、運営がとても楽しかった。
- ⑧皆さん、てきぱきと指示無しでお客様の相手をしていました。
- ⑨分かり易く色々教えてくださったので、すごく良かったです。
- ⑩おままごの時は、小さい子が頭をぶつけないように気を付けたり、お母さんも日頃の育児で疲れていると思うので、なるべく自分が子ども達と楽しく遊んであげるようにしました。
- ⑪一日の間で、多くの人と接することができて、「1つのイベントで幅広い年齢層の方々と楽しく遊ぶことができる」ことに気づきました。
- ⑫私は、午前、パレードで、午後はおままごとでした。大学の先輩方がとても上手く引っ張ってくださって、一生懸命な所が「かっこいいな！」と思いました！

事務局から

- ◎ 新見高校、共生高校共に、事前の説明会は、30分～40分間でした。
不安感を解消し、生徒達のモチベーションを高めることができるプレゼンを来年は行います。

○運営等でお気づきのことがあればお書きください。
大学生PART①

- ①「木っざにあ」のブースで、入り口から出る人がいた。出入り口がわかりにくかったかもしれない。
- ②「バンドーラ」ブースでは、小さな子どもには難しいかと思っていましたが、真剣に集中して遊んでいた。
- ③大学生ってすごいなと思いました。
- ④受付と誘導スタッフが多く、何もしない人が出てしまった。
- ⑤子ども達の自由な発想を活かし、シンプルなものも面白いものになると気づきました。
- ⑥木のおもちゃを通して、自然に触れることができ、木のすごさを子どもに感じてもらえたと思いました。
- ⑦首にかけるペンダントがくむんだーの木に引っかかってとても危なかったです。
おもちゃのブースがもう少し広い方が、引っ張り系のおもちゃで遊びやすいと思いました。
- ⑧どのコーナーにも予想以上に子ども達が来て、体験コーナーはやはりあった方がいいと思った。
「木っざにあ」という一つのコーナーにしたのも良かったが、もう少し開かれた場であれば、もう少し入りやすかったのではないかと思った。
小さい子の保護者が体験型のコーナーを諦めていたため、小さい子でも取り組めるような活動、若しくは年齢をわかりやすく提示すればよかった。
- ⑨子どもは主に保護者と遊ぶので、ボランティアが多すぎるとすることがない。
おもちゃの使い方が分からないものもあったので、自分達で遊んでみる時間などがあるとよいと思った。
- ⑩スタッフが多くいたけれど、交流ができて良かったです。
- ⑪くむんだーで落下した子どもがいた。大事には至らなかったが、「くむんだー」が3台だったので、分担して見守りをすべきだった。ボランティアの方にももう少し指示が出せれば良かった。
- ⑫風船を配る時に、なくて悲しそうなお子さんがいたので、もう少し用意ができていたらと思いました。
- ⑬人が多く来たり、来なかったり、ばらつきがあったので見通しを持って動いた方がいい。
- ⑭コロナ対策として、密集しすぎず良かったと思います。
- ⑮くむんだーで前回参加した時は、ヘルメットがあったのに、今年はなかったの、なぜかなと思った。
- ⑯受付は、中との連携をもう少し必要だと思う
- ⑰くむんだーが少し危険。
- ⑱ロボットづくりのスペースがもう少しあれば良いと思いました。
- ⑲ブース同士の区切りも木だったこと。こだわっていいなど。
- ⑳お客さんの数によって、イスの数を調節することがあり、出するのに時間が掛かった。
机が足りず、会議室から持ち出したため、休憩の時使う机がなかった。
ステージを見るのに、床に座ったため、足をいためたり、冷えたりする人がいた。
落とし物や忘れ物の問い合わせをどこにするのかわからなかった。
- ㉑広い体育館が4台の大型スロープでぽっかぽかで最高でした。換気も適度で良かった。
- ㉒丸太切りで、切ったあとにやすりで削れると、子ども達が感触を持って楽しめると思います。
- ㉓誘導の人数が少し多いと感じた。クール間の仕事の引き継ぎを誰かが行くと、もっとスムーズに運営できた。
- ㉔ボランティアスタッフ一人一人が自覚して動いていくといいと思った。指示待ちの人がいた。

事務局から

「くむんだー」の落下については、安全面の配慮が不十分でした。
十分に検討し、今後のワークに活かします。
人と人が繋がることで、更なるパワーを生み出してくれます。

○運営等でお気づきのことがあればお書きください。
大学生運営PART②

- ⑥少しボランティアの数が多く、子どもにとっては威圧的にならないか気になった。
- ⑦使ったおもちゃしっかり元の場所に片付けるということをもう少しアナウンスできたら良かったと思います。
- ⑧スタッフが優しく子ども達に声かけをしていました。いいなと思いました。
- ⑨スタッフの足りていない時に、気づかない人がいて残念だった。
- ⑩葉脈しおりづくりでは、のりや型抜きがあればよいと思いました。
- ⑪始まる前にリストバンドを付けるのを忘れ、付けずに始まった。付ける時間があつたら良かった。

- ⑫紙芝居の時、後ろの音が大きく聞こえにくかった。
- ⑬紙芝居の空間を、音が重なり合わない場所にすればよかった。
- ⑭当日だけでしたが、こんなにもたくさんの準備があつてこそその会。ありがとうございました。
- ⑮木っざにあの楽器作りは、一人にかかる時間が長く、回転率が良くなかつたのが気になりました。
こちら側が事前にやっておく工程があつても良かったかもしれません。
- ⑯ロボ木スペースは、「作るスペース」と「絵を描くスペース」の2つが必要でした。
楽器やロボ木一は、もう少しスペースを広くとつても良かったかなと感じました。

- ⑰くむんだ一で落下した子がいました。真ん中に入るとサポートしにくいので、どう対応すればいいのか。
- ⑱ままごとで、一人の子がたくさん長い時間、使っていたのを上手く回せなくて使えない子がいた。
- ⑲木っざにあで、出口、入り口が分かりづらそうだったので、改善すべきだと思います。
- ⑳くむんだ一の第1回目の際に、子どもの年齢も低く、45分では、組み立て、遊ぶ、解体は難しかったです。

事務局から

人の活かし方については、まだまだ課題があります。
それを発展的に解決し、より良い会にしていくことが、創造力ですね。

○今の想いや企画してみたい活動があればお聞かせください。 高校生

- ①来年も絶対参加しようと思いました。
- ②木のおもちゃコーナーにずっといました。子どもとこんなに触れあうことがないから心が温まりました。また、参加したいです。
- ③とても楽しくて、コロナでイベントがなかなかできなかったのが、久しぶりにできて良かったです。
- ④私は、当日参加だけでいいけど、準備なんか大変だろうなと思いました。すごいことだと思います。
- ⑤今、高校生で将来のことを深く考えなければならぬ時期だったので、将来につながる視野を広げることができました。
- ⑥このようなイベントがあれば是非参加したいと思います。
- ⑦今回初めて参加させていただきました。私は、将来教育について興味があったため、活動に参加し、子どもの発達段階や遊びの工夫について学ぶことができました！
すてきな体験をありがとうございました。来年も参加してみようと思います。
- ⑧今回のような子どもと遊んだり、触れあったりする機会をもっと増やしていきたいと思った。
- ⑨また参加してみたいです。
今回はあまり子ども達と話せなかったので、次はもっと積極的に行動したいです。
- ⑩また機会があれば参加したいです。
- ⑪新見高校吹奏楽部もこの会に参加したいです。
- ⑫高校生活では体験できないことでした。
将来のことや子どものことを私なりに考える機会となりました。ありがとうございました。
- ⑬小さい子だけでなく、自分も一緒に楽しめてとても楽しかったです。良い経験になりました。
- ⑭木を通して子どもと触れあうことができ、普段できない経験をすることができて良かったです。
- ⑮小さい子と一緒に楽しむことができたし、木のすごさを感じることもできた。
- ⑯新見で、大学の体育館で、こんな楽しい会ができること自体夢みたいです。
それもコロナがある中で、すごいと思います。
- ⑰小さい子と触れあうことがないので楽しかった。
- ⑱子ども達と触れあいを楽しむことができて良かった。また同じような機会があれば参加したい。
- ⑲今回のイベントで、昔から家の周りで嗅いでいた木の香りがとても懐かしく思い出しました。
その木を使って、こんな風に楽しく遊べるのは良いなと思いました。
次は、新見公立大学生として参加します。
- ⑳コロナであまり人と関わることがなかったので、森のゆうえんちに参加できて良かったです。
- ㉑人と関わることが今まであまりなかったので、参加してみて大変な事もあったけど、無事成功させることができて良かったです。
- ㉒久しぶりにたくさんの人達とコミュニケーションが取れて良い経験になったと思います。
ありがとうございました。
- ㉓とても楽しくて、コロナでイベントがなかなかできなかったのが、久しぶりにできて良かったです。
- ㉔とても楽しい経験ができました。ありがとうございました。次回も参加します。
- ㉕「作って、壊す」という単純なことが改めて楽しいと感じました。そして、子ども達との触れあいが楽しかったです。時間がなく簡単な文になりました。すみません。
- ㉖貴重な体験ができて良かったです。これから活かしていきたいです。
- ㉗本当に楽しかったです。ちっちゃい子も大学生のお姉さん達も、大人もあまり年齢関係なくレクリエーションができて嬉しかったです。機会があれば、またスタッフとして参加したいです。
- ㉘今回、このイベントに参加できて本当に良かったと感じています。「みんなでパブリカを踊ろう」の時に心が一つになったと思い、「次回からも参加させてもらいたいと思いました。
- ㉙このご時世で、こんなにもたくさんの方々に関わる機会がなかったので、すごく私自身、色々な面で新しい刺激を受けることができました。また、積極的に参加したいです。

事務局から

将来のこと、木のすごさを感じる貴重な会だったということが嬉しいですね。
来年、この学生達が大学に入り、実行委員になることを楽しみにしています。

○今の想いや企画してみたい活動があればお聞かせください。 大学生①

- ① コロナ禍で、子ども達と触れあう機会がなかったので、参加し、子ども達と活動できて良かったです。先輩や高校生ともたくさんコミュニケーションをとれたことも良かったです。ありがとうございました。
- ② コロナ禍、このようなイベントが開催され、子ども達と触れあうことができ良かった。このような機会があればまた参加したいと思った。
- ③ とてもやりがいがあり、子どもの笑顔を見ることができたのがとても嬉しいです。
しかし、ひやっとする瞬間もあり、少し疲れました。もっと部屋一杯に落ち葉などを敷き詰めたら楽しいと思いました。また企画したいです。
- ④ 森のゆうえんちに参加して、様々な世代の人と関わって、とても楽しい1日でした。また参加します。
- ⑤ 自分自身も楽しみながら活動でき、また参加したいと思いました。
- ⑥ 子どもの笑顔に癒やされました
- ⑦ コロナ禍で、子ども達と関わる機会が減っていく中でのボランティアは、本当に貴重な体験だった。次回も参加したいと思った。この経験を来年の実習に活かせられるようにしたい。
- ⑧ またこのような機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
コロナ禍で、子どもに関わる機会がなかなかなかったので、本当に楽しく幸せな時間を過ごせました。
- ⑨ 初めてのことで、よく分からないことも多くありましたが、周りを見ながら自分にできそうなことをやり、成功させることができよかったです。
子どもと久しぶりに関わって、とても楽しかったです。また参加したいと思いました。
- ⑩ 自分達も楽しめたとし、木っていいなと思いました。
- ⑪ とっても楽しかったです！！
- ⑫ 小さな子ども達と接する機会はなかなかないので、良い経験になりました。ありがとうございました。
- ⑬ コロナ禍で、子どもと触れあう機会やボランティアに参加する機会がなかったので、このボランティアに参加することができて良かったです。
実習に行く前のいい経験になったと思います。実習に行く前の子どもとの接し方を自分で理解し、次に参加するときは、成長した接し方ができるようにしたいです。
- ⑭ とても楽しかったです。絶対参加します。
- ⑮ 子どもと関わって楽しかったです。
- ⑯ 疲れたけど楽しかったです。時間がなく、全部を体験できなかったのが、次回参加したいと思います。それもコロナがある中で、すごいと思います。
- ⑰ 年齢を越えた交流をすることができ楽しかった。
- ⑱ 自分自身も楽しめたので良かったです。また機会があれば参加したいです。
- ⑲ 楽しかった。コロナが治まってこれより多くの子ども達に会えるのを楽しみにしたいです。
- ⑳ 保護者の方も子ども達も笑顔が観られ、人との繋がりの温かさが感じられるかけがえのない時間になりました。やって良かったです。
- ㉑ とても貴重な時間でした。また参加したいです。木の遊具(ジャングルジム以外のものをたくさん)遊ぶ企画をしてみたいです。
- ㉒ 定期的に子ども達と関わる活動に参加したいです。
- ㉓ 事前説明会も前日準備も大変でしたが、久しぶりに小さい子ども達と触れ合えました。とても癒やされました。また参加したいです。
- ㉔ 丸太を使った工作をやりたい。どんぐりや葉、枝を使ったものづくり体験。
- ㉕ コロナ禍で、このようなイベントのスタッフとして参加するのが久しぶりで、とても楽しかったです。またスタッフとして参加したいです。
- ㉖ 楽しかったです。ありがとうございました。
- ㉗ ボランティアに参加してみたいと思っていたので、今回参加できて良かったです。本当に良い経験になりました。楽しかったです。

事務局から

「コロナ禍」の中で辛い思いをしてきた彼女、彼ら達。誰かのためにと頑張って活動していることが実は、自分の力や可能性を伸ばす機会になっていたということに気づいていくんですね。

「第4回森のゆうえんち in にいみ」アンケート No.9

○今の想いや企画してみたい活動があればお聞かせください。
大学生②

- ⑳ こういう活動があれば、今後も参加したい。楽しかったです。
- ㉑ 2回目の参加でしたが、様々な場面で保育としていい経験になったし、先輩方と子どもとの関わり方がとても勉強になりました。
- ㉒ 準備をするのが、大学生のボランティアとスタッフの人だけだとすごい時間がかかったので、可能なら高校生も参加してもいいかと思った。楽しかった。また参加したい。
- ㉓ **人が集まって、場があって、新しい可能性が生まれることにあらためて気づかされました。**
- ㉔ 参加して良かったと思います、子ども達と触れあういい機会となりました。

- ㉕ ティンカーベルやウィンドアンサンブル、パレード、音で繋がっていくっていいですね。
- ㉖ 自然や音楽にも触れながらまた子ども達とも触れあえた素晴らしい時間でした。
- ㉗ 準備期間が短く大変だったけれどお客さんに楽しんでいただけて良かったです。自分自身もまたこのような機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
- ㉘ 楽しかったので、また機会があれば参加したいです。
- ㉙ **子どもが産まれたら、「木のおもちゃ」を買いたいと思いました**

- ㉚ 子ども達がすごく楽しそうにしていたことが印象的で嬉しかった。バンドーラづくりは、大人の方も熱心に取り組まれており、子どもだけではなく大人の方にも楽しんでいただけてよかった。
- ㉛ 学生ボランティアが多く、手持ち無沙汰になっている学生もいた。沢山いて圧迫感があり、緊張していた子もいたため、30名くらいでよいと思った。時間に限りがある中で、演目を詰め込みすぎた。木のおもちゃはツールかもしれないが、木と触れる機会がないからこそ、もっと自由に遊ぶ時間を確保し、主体的に遊べる様にした方がよいと思った。

事務局から

◎「子どもが産まれたら、木のおもちゃ」を買いたい、そう思った大学生が一人でもいたということ、若い世代に届く会だったんだなあと感じました。

試行錯誤し、みんなで創り上げた「第4回森のゆうえんち in にいみ」。次へ進もうという気持ちの高まりがありました。

「第4回森のゆうえんち in いみ」アンケート No 10

○心に残っているepisodeや場面についてお聞かせください。

一般・スタッフ

- ①子ども達が笑顔で遊んでいて可愛かったです。
- ②楽しんでもらえたようで良かったです。
- ③子どもが「掃りたくない」とだだを言っているのが嬉しかったです。
- ④パレードで、ティンカーベルの皆さんや大学生、見に来てくださった方が、パプリカに併せて踊ってもらえたことが嬉しかったです。
- ⑤子ども達が楽しそうにダンスや掛け声をかけていた場面です。元気をもらいました。
- ⑥皆さんが曲に合わせて歌ってくださって嬉しかったです。木のおもちゃが可愛かったです。
- ⑦子どもから大人までTEMIに関心を持ってもらえたほか、大学の先生からは、改善、要望も聞けたので今後の運用の参考にしたいと思います。
- ⑧スタッフの交流会がとても印象深かったです。色々な立場の方のお話を聞くことができ、視野が広がりました。また、学生にとっては、沢山の人の前で発表する良い機会になったと思います。
- ⑨学生ボランティア、スタッフ、会場参加者の生き生きとした良い笑顔でした。遠隔ロボットが印象に残っています。

○ブースの運営等でお気づきのことがあればお聞かせください。

- ①とても親切にしてくださり、ありがとうございました。準備が大変な中ありがとうございました。
- ②学生さんが本当によく頑張っていました。
- ③今回のルーティーンを更なるステップにして、より素敵な会にしてほしい。
- ④笑顔、笑顔の会。みなさんのご努力に敬意を表します。
- ⑤子ども達にも保護者の方にもとても楽しんでいただけたのではないかと思います。木のおもちゃの使い方が分からない学生もいたようなので、事前に少し説明があると良かったかなと思いました。
- ⑥コロナ対策として、ブースには入っていませんが、密集しすぎずでよかったと思います。
- ⑦大変だったかと思いますが、いい会にさせていただきありがとうございました。

○今の想いをお聞かせください。

- ①また機会があれば宜しくお願いします。
- ②コロナの時代ですが、頑張って良かったです。
- ③自由にスペースを回れる時間もたくさんいただき、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ④コロナ禍で、なかなか子ども達や学生の集まりがない中で、このようなイベントを開催してくださりありがとうございました。
- ⑤学生がみんな頑張っていて、とてもいいイベントだったと思います。
- ⑥思っていた以上に、高校生、大学生の元気度、フレッシュさが今回 溢れていて、素晴らしいイベントだった。
- ⑦コロナの影響で、校外に出る活動がほとんどできなかった中、今回は色々な年代の方と交流する機会をいただき、本当に良かったと思います。生徒達も良い表情をしていました。また是非、ボランティアに参加させていただきたいです。次は是非、留学生も連れて行きたいと思います。
- ⑧看護の学生もコラボレーションできることがあればと思いました。本日もボランティアで学生数名もおりましたが、何かできないか模索中です。人が集まって、場があって、新しい可能性が生まれることにあらためて気づかされました。参加させていただき感謝の想いでいっぱいです。

事務局から

- ◎ この会のコンセプトであった「笑顔の輪」が、「木」を通して広がりました。その輪を広げるジョイント役は、スタッフ、一人一人の相手を思う心。

コロナ禍の中でも、新見で、心を集めると、こんなにも素晴らしい触れあいができるんですね。高校や大学の先生方も、生徒達の交流の様子から、新たな未来を考えてくださいました。

○印象に残ったブースや活動、子どもさんの様子についてお聞かせ下さい。

- ①実際に木のおもちゃにふれてみるとあたたかみや音の心地よさが感じられて良かったです。
来年もあつたら是非来たいです。(0歳と3歳児のお母さん)
- ②小さな子ども達にとってもいいイベントだと思いました。来年も楽しみにしています(1歳児のお母さん)
- ③ボランティアの方々の協力で、このような会ができ良かったと思います。(3歳児のお父さん)
- ④とても楽しい体験ができました。コロナ禍でさびしい思いをしていたので、ありがたいです。(4歳児と7歳のお母さん)
- ⑤ボードゲームやカードゲームを子どもが楽しんでいました。時間がもつとあつたらいいなと思いました。
1年に1回と言わず、もっとたくさんしてほしいと思いました。来年もあつたら是非来たいです。(10歳児のお母さん)
- ⑥子ども達がとても喜んで遊んでいました。木のおもちゃも楽しかったようですが、5歳と4歳の子どもは、大学生や高校生の方と遊べたのが嬉しかったようです。ありがとうございました。(2歳児と4歳児と5歳児のお母さん)
- ⑦木のいろいろな可能性を知り、体験できてとても楽しく過ごせました。是非、来年もお願いします。(4歳児と6歳児のお母さん)
- ⑧今日はお招きいただきありがとうございます。子ども達も普段体験できない遊びにとっても楽しそうでした。
有意義な時間をありがとうございました。(12歳と15歳のお母さん)
- ⑨なかなかコロナでどこへも行けなくて、近くで木に触れて遊べる場があつて良かったです。
赤ちゃんが遊べるスペースは本当に嬉しいです。また次も行きたいです。(4ヶ月、3歳児、5歳児のお母さん)
- ⑩今日は、お呼びいただきありがとうございます。ティンカーベル初期メンバーの姉弟は、市外でのイベントに出演でき、大満足でした。コロナ禍でのイベントで、いろいろ工夫されていて久しぶりに楽しく過ごせました。受験生娘(13歳と15歳のお母さん)
- ⑪コロナ禍の中で、イベントをしてくださってありがとうございました。(2歳児と5歳児のお父さん)
- ⑫楽器やロボット、丸太切りなどが楽しかったようです。(6歳児と4歳児のお母さん)
- ⑬ボードゲームがとても楽しかったです。年齢を越えて交流できました。(9歳児のお母さん)
- ⑭プラントイのおもちゃのコーナーと丸太切り。(6歳と14歳のお母さん)
- ⑮親子で遊ぶ姿が良かった。おもちゃを前に目がきらきら。(10歳児のお母さん)
- ⑯木に触れて面白そうだった。(1歳児と3歳児のお母さん)
- ⑰木のおもちゃコーナーのキッチンセットが気に入ったようです。(3歳児のお母さん)
- ⑱木のおもちゃ体験ブースに夢中でした。(3歳児のお母さん)
- ⑲ティンカーベルやウィンドアンサンブルの音楽がとても良かったです。(1歳児と3歳児のお母さん)
- ⑳ままごと遊びが日頃できないので喜んでいました。(3歳児のお母さん)
- ㉑クミノがたくさんあって、思いっきり楽しめました。(4歳児のお母さん)
- ㉒最初は、人見知りでしたが、慣れて、興味が出てきたみたいです。(3歳児のお父さん)
- ㉓ボードゲーム、木のジャングルジム、森林の環境問題(13歳の子46歳のお母さん)
- ㉔木のおもちゃコーナーでは、やさしいお姉さんとお兄さんと遊んでもらって嬉しそうでした。(5歳児のお母さん)
- ㉕木の楽器づくりは、とてもいい音が出て楽しかったです。(4歳児と7歳児のお母さん)
- ㉖すべて！全員を巻き込む企画！素晴らしい！(15歳と13歳のお母さん)
- ㉗手作りコーナーが良かったです。近場でこんな体験ができるところが欲しいです。(2歳児と6歳児のお母さん)
- ㉘ロボ木づくりで夢中になっていました。(3歳児と7歳児のお母さん)
- ㉙楽器作り、木のジャングルジム(4ヶ月、3歳児、5歳児のお母さん)
- ㉚普段できない遊びにとっても熱中していました。木に触れ合える体験は素晴らしい。(12歳と15歳のお母さん)
- ㉛思ったより規模が大きく驚きました。それと同時に嬉しく、感謝しています。(2歳児と5歳児のお母さん)
- ㉜ボードゲームと音楽。ボードゲームは大人もできるんだと思いました。(9歳児のお母さん)
- ㉝楽器づくりやロボット、丸太切りなど。(4歳児と6歳のお母さん)
- ㉞パレードが楽しかったです。お母さんといっしょと子どもが言って、喜んでました。(3歳児のお母さん)
- ㉟ウィンドアンサンブルの方達のエンターテイメントに脱帽です。音楽でこんなに心地良くなるなんて久しぶりです。ありがとうございました。(5歳児のお父さん)
- ㊱好きなおもちゃで、思い思いに遊んでいるのが見ていてほのほのしました。工作などをする機会が増えればいいなと思った。(5歳児のお母さん)

○「木育をご存知ですか」「木育」についてのご意見をお聞かせください。

PART 1

- ①知っています。実際に触れる機会があると良さを実感できました。(女性・39歳・大佐)
- ②知っています。木育活動を定期的に幅広い地域に浸透させることができたらいいですね。(女性・52歳・哲多)
- ③知っています。若い世代へのバトンタッチができたらいい。(男性・30歳・新見)
- ④知っています。普段のおもちゃより飽きずに使っていたと思います。(女性・40歳・唐松)
- ⑤知っています。今日の会で、「木」についての興味がますます湧いてきました。(女性・34歳・神郷)
- ⑥知っています。とても良いと思います。新見市でもっと取り組みばと思いました。(女性・41歳・哲西)
- ⑦知っています。木のぬくもりを感じていいと思います。(男性・54歳・新見)
- ⑧知っています。子どもには、木のおもちゃを子どもの頃よく買って遊びました。(女性・46歳・大佐)
- ⑨知っています。「癒やし」効果を思い浮かべます。(女性・43歳・哲多)
- ⑩知っています。木のおもちゃの活動はとてもよいと思います。(女性・44歳・下熊谷)
- ⑪知っています。温かい気持ちになれます。(女性・40歳・新見)
- ⑫知っています。木の音はいいですね。癒やされます。(女性・37歳・高尾)
- ⑬知っています。小さい内から木のおもちゃ等を通じて、木に触れあうことはとても大切だということです。(男性・34歳・高尾)
- ⑭知っています。毎年、定番のイベントになればと思います。(女性・46歳・哲西)
- ⑮知っています。新見市にバイオマス発電所ができました。この機会に木の勉強を小さい内からしてほしいです。(男性・35歳・高尾)
- ⑯知っています。木についてもっと知ることは大切ですね。(女性・35歳・大佐)
- ⑰知っています。必要なことだと思う。身近にある森林を活かすために。(女性・42歳・哲西)
- ⑱知っています。新見市に「木育」は必要だと思います。(女性・30歳代・新見)
- ⑲知っています。他市、全国に広めたら良いと思います。(女性・42歳・新見)
- ⑳知っています。「木育」は必要です。(女性・42歳・下熊谷)
- ㉑知っています。林業は、新見市の主要な産業のひとつなので、子ども達にも身近に感じてもらうため「木育」は必要です。(女性・35歳・新見)
- ㉒知っています。「木育」は必要だとおもいます。(女性・40歳代・新見)
- ㉓知っています。山間部なので、利用できるモノを木に変えていくと心豊かに人が育ちそうな気がします。(女性・40歳代・哲西)
- ㉔知っています。「木育」は必要だと思います。地域にあった「木育」を今後もしていけばよいと思いました。(男性・35歳・新見)
- ㉕知っています。森林の多い市なので、是非盛んにして欲しい。(女性・70歳代・新見)
- ㉖知っています。新見には山が多く、管理できない山も多いと思います。そんな森のかわいそうな木を考えてあげてほしい。(女性・60歳代・新見)
- ㉗知っています。地域の森をよくする動きに繋がっていくとよいと思います。(男性・40歳代・新見)
- ㉘知っています。親子で一緒になって遊ぶ姿が見られ、とても良かったです。(男性・30歳代・新見)
- ㉙知っています。普段から使っているものを木に変え、手触りや香りを感じさせてみたい。(女性・40歳代・哲西)
- ㉚知っています。普段できない遊びにとっても熱中していました。木に触れ合える体験は素晴らしい。(12歳と15歳のお母さん)
- ㉛知っています。プラスチック製品のような派手な色や音がなくとも、夢中で遊ぶんだと少し意外でした。
木のおもちゃは高価ですが、できれば取り入れてみたいです。(女性・30歳代・新見)
- ㉜知っています。中学生も楽しんでいました。あたたかさを感じました。(女性・40歳代・新見)
- ㉝知っています。初めてのおもちゃばかりで、目が輝いていた。(男性・30歳代・新見)

事務局から

来られた方は、ほぼ全員「木育」という言葉をご存知でした。
次の世代へ繋いでいきたいカタチは、明確になっています。